

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010101

| 事業名                    |   | H29年度<br>(決算額)                        | 財 源 内 訳                    |                            |       |          |
|------------------------|---|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-------|----------|
| 担当部・課                  |   |                                       | 国道支出金                      | 地方債                        | その他   | 一般財源     |
| 商店街活性化事業<br>産業経済部商業振興課 |   | 7,824 千円                              | 千円                         | 千円                         | 千円    | 7,824 千円 |
| 根拠法令                   | 苫小牧市商店街の活性化に関する条例   |                                       |                            |                            |       |          |
| 実施方法                   | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                                       |                            |                            |       |          |
| 事業の目的・対象               | 若者や高齢者などの多様なニーズに調和した魅力ある商店街づくりを目指し、まちの顔である中心商店街や地域商店街の活性化を図ります。   |                                       |                            |                            |       |          |
| 事業の必要性                 | 商店街の活性化に関する条例が施行され、現在商店会の組織基盤の強化を図るための加入促進活動を行う商店街組織が増えています。組合員の減少は自己資金・人材の確保の困難など、様々な問題の要因となりうることから、加入促進活動に関する支援など、今後も商店街活性化につながる市のバックアップが必要とされています。   |                                       |                            |                            |       |          |
| 事業の内容                  | <p>①商店街活性化事業<br/>商店街活性化事業助成要綱に基づき、市内商店街組織の行う活性化目的の事業に補助を行う事業です。平成29年度は14商店街組織から応募があり、17件が採択されています。<br/>【平成29年度補助】 17件 2,792千円</p> <p>②苫小牧市チャレンジショップ等商店街活性化事業<br/>苫小牧市チャレンジショップ等運営事業補助金交付要綱に基づき、市内商店街の空き店舗等を活用して行うチャレンジショップ等運営事業に要する経費に対し予算の範囲内において補助金を交付するものです。平成29年度は2組織から応募があり、2組織全てが採択されています（継続1件、新規1件）。<br/>【平成29年度補助】 2件 1,806千円</p> <p>③店舗改装費補助事業<br/>店舗改装費補助金交付要綱に基づき、自店舗の魅力向上等に繋がる改装工事を行う者に対し、その一部を補助する事業です。平成29年度は7店舗から応募があり、7店舗全てが採択されています。<br/>【平成29年度補助】 7件 3,226千円</p> |                                       |                            |                            |       |          |
| コスト                    |   | 人件費                                   |                            |                            |       |          |
| 事業費<br>(H29年度決算額)      | 7,824 千円  | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      |                            | 従事職員数 |          |
| 人件費                    | 4,143 千円  | 担当正規職員                                | 4,143 千円                   | 0.6                        | 人     |          |
| 総 計                    | 11,967 千円   | 嘱託職員                                  | 千円                         |                            | 人     |          |
|                        |   | 再任用 (7ル)                              | 千円                         |                            | 人     |          |
|                        |   | 再任用 (ハ-7)                             | 千円                         |                            | 人     |          |
|                        |   | 臨時職員                                  | 千円                         |                            | 人     |          |
| 事業実績<br>(活動指標)         | 指標名   | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度 |          |
|                        | 商店会・振興組合  | 組織                                    | 19                         | 19                         | 19    |          |
| 成果目標                   | 各商店街組織の組合員増加と魅力ある個店づくりを支援することで、市内地域に根ざした元気な商店街をつくり、市全体の商店街活性化を図り商店街組合数の増加に結びつけることを目指します。  |                                       |                            |                            |       |          |
| 自己評価                   | 事業の有効性（効果の達成状況）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |          |
|                        | 事業の効率性（費用対効果）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |          |
| 自己評価の理由                | 平成29年度は各商店会からの声を参考に商店街活性化事業の補助率等の変更等を行い、効果的に商店街を活性化することに取り組みました。  |                                       |                            |                            |       |          |
| 事業の課題、今後の方向性等          | イベントや環境整備事業による事業実施時の集客は一時的なものになってしまいがちであり、新規顧客・リピーターの獲得に結びつけるためには、商店街及び個店の認知度を上げ、恒常的な集客につながるような事業をどう検討するかが重要な課題であると考えます。  |                                       |                            |                            |       |          |
| 特記事項                   |   |                                       |                            |                            |       |          |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010102

| 事業名                      |   | H29年度<br>(決算額)  | 財 源 内 訳               |       |       |          |
|--------------------------|---|---|-----------------------|-------|-------|----------|
| 担当部・課                    |   |   | 国道支出金                 | 地方債   | その他   | 一般財源     |
| 中心商店街活性化事業<br>産業経済部商業振興課 |   | 1,236 千円  | 千円                    | 千円    | 千円    | 1,236 千円 |
| 根拠法令                     | 苫小牧市商店街の活性化に関する条例   |   |                       |       |       |          |
| 実施方法                     | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |   |                       |       |       |          |
| 事業の目的・対象                 | 【目的】中心市街地の活性化を図るため、中心市街地内の空き店舗家賃補助や商店街等が行うイベント事業に対して補助金を支出し中心市街地の賑わいと集客を図ります。<br>【対象】中心商店街・店主   |   |                       |       |       |          |
| 事業の必要性                   | 平成26年4月にegaoが閉鎖したことにより、中心市街地活性化の必要性はますます高まっています。駅前の商店街をより元気で賑わいのある商店街にするために、各種イベントの取組みや、情報発信、空き店舗を活用して新たな店舗をオープンする事業者に対しての支援は今後も必要であると考えます。   |   |                       |       |       |          |
| 事業の内容                    | ①空き店舗活用事業補助金<br>中心市街地に存在する空き店舗のシャッターを開け、商店街の連続性を保つことを目的に、空き店舗を活用して、新規出店する事業者に対し、店舗賃借料の2分の1を補助（最長12ヶ月、1ヶ月補助上限5万円）又は店舗移転改装費（上限45万円）を補助するものです。（平成27年度から店舗改装費を30万円→45万円へ引き上げ、より活用しやすいものに見直しをしています。）<br>【平成29年度補助】 836,000円<br>・店舗賃借料 3件： 386,000円<br>・店舗改装費 1件： 450,000円<br><br>②中心市街地活性化補助金<br>中心部の商店街で構成する「苫小牧市中心商店街づくり実行委員会」が実施する活性化目的の事業に対して補助を行うものです。<br>【平成29年度補助】 400,000円<br>・情報発信事業： 200,000円（街づくり実行委員会ホームページに係る管理運営費補助）<br>・百縁商店街事業： 200,000円（中心市街地を巨大な100円ショップに見立てて、参加店の店頭にて100円コーナーを設置） |   |                       |       |       |          |
| コスト                      |   | 人件費   |                       |       |       |          |
| 事業費<br>(H29年度決算額)        | 1,236 千円  | 職員構成  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数) |       | 従事職員数 |          |
| 人件費                      | 3,453 千円  | 担当正規職員  | 3,453 千円              |       | 0.5 人 |          |
| 総計                       | 4,689 千円  | 嘱託職員  | 千円                    |       | 人     |          |
|                          |   | 再任用(7ル)   | 千円                    |       | 人     |          |
|                          |   | 再任用(ハ-7)  | 千円                    |       | 人     |          |
|                          |   | 臨時職員  | 千円                    |       | 人     |          |
| 事業実績<br>(活動指標)           | 指標名   | 単位  | H29年度                 | H28年度 | H27年度 |          |
|                          | 中心市街地空き店舗数  | 店舗  | 5                     | 6     | 5     |          |
| 成果目標                     | 中心市街地の空き店舗を減少させ、中心市街地でのイベント事業や情報発信事業を支援することで、まちなかに恒常的な賑わいを創出することを目指します。   |   |                       |       |       |          |
| 自己評価                     | 事業の有効性（効果の達成状況）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |                       |       |       |          |
|                          | 事業の効率性（費用対効果）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |                       |       |       |          |
| 自己評価の理由                  | 平成29年度については、事業の利用状況は多くはないが、中心市街地で移転したテナントの多くは空き店舗を利用しており、中心市街地での営業に役立っていると考えられます。また、まちなかでの創業支援という意味でも重要だと考えます。  |   |                       |       |       |          |
| 事業の課題、今後の方向性等            | 課題としては、補助終了後の営業が長く続かない傾向にあるということが上げられます。また、新規創業者には資金面での支援だけでなく、経営のノウハウ、必要な知識面についてなど、多方面からの支援が必要とされています。   |   |                       |       |       |          |
| 特記事項                     |   |   |                       |       |       |          |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010103

| 事業名               |  | H29年度<br>(決算額) | 財 源 内 訳                               |                            |                            |         |
|-------------------|--|----------------|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------|
| 担当部・課             |  |                | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源    |
| 中小企業振興資金貸付金       |  | 401,400 千円     | 千円                                    | 千円                         | 401,400 千円                 | 千円      |
| 産業経済部商業振興課        |  |                |                                       |                            |                            |         |
| 根拠法令              | 苫小牧市中小企業振興条例   |                |                                       |                            |                            |         |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金   |                |                                       |                            |                            |         |
| 事業の目的・対象          | 中小企業者等に対し、事業活動に必要な運転資金及び設備資金の融資の円滑化を図ることにより、経営基盤の強化及び経営の安定化を図ります。  |                |                                       |                            |                            |         |
| 事業の必要性            | 当該融資制度は長きにわたって、中小企業者等の経営基盤を支えています。低金利での融資により、中小企業者等の資金需要に応じており、経営安定と事業の発展には欠かせない融資制度となっています。   |                |                                       |                            |                            |         |
| 事業の内容             | <p>(1) 融資対象<br/>市内に独立した事業所を有し、かつ、市税を完納している中小企業者等</p> <p>(2) 融資金額及び期間<br/>運転資金4,000万円以内(10年以内)、設備資金4,000万円以内(12年以内)</p> <p>(3) 融資利率<br/>1年以内 年1.2%、1年超5年以内 年1.7%、5年超 年1.8%</p> <p>(4) 融資期間<br/>運転資金 10年以内 設備資金 12年以内</p> <p>※対象業種<br/>北海道信用保証協会対象業種</p> |                |                                       |                            |                            |         |
| コスト               |  | 人件費            |                                       |                            |                            |         |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 401,400 千円   | }              | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数                      |         |
| 人件費               | 1,243 千円   |                | 担当正規職員                                | 1,243 千円                   | 0.18                       | 人       |
| 総 計               | 402,643 千円   |                | 嘱託職員                                  | 千円                         |                            | 人       |
|                   |  |                | 再任用(7ル)                               | 千円                         |                            | 人       |
|                   |  |                | 再任用(ハ-7)                              | 千円                         |                            | 人       |
|                   |  | 臨時職員           | 千円                                    |                            | 人                          |         |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名  |                | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度   |
|                   | 融資金額   |                | 千円                                    | 847,710                    | 955,310                    | 922,410 |
|                   | 融資件数   |                | 件                                     | 70                         | 88                         | 78      |
| 成果目標              | 今後も中小企業者等が利用しやすい融資制度を確立するため、時代に即した融資制度を検討します。  |                |                                       |                            |                            |         |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）  |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |         |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）  |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |         |
| 自己評価の理由           | 苫小牧商工会議所や市内金融機関等から情報収集を行い、新規創業者を含めた中小企業者等が利用できるよう、市内金融機関の本・支店を訪問し制度利用のための周知を行いました。   |                |                                       |                            |                            |         |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 景気変動や金融情勢などの理由から融資の見通し予測が困難ですが、中小企業者等のニーズに応えられるよう、利用者の声を拾い上げ、時代に即した融資制度を検討します。   |                |                                       |                            |                            |         |
| 特記事項              | 決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は年度末に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。   |                |                                       |                            |                            |         |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010104

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額) | 財 源 内 訳                               |                            |                            |         |
|-------------------|---|----------------|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------|
| 担当部・課             |   |                | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源    |
| 小規模企業経営改善資金貸付金    |   | 800,000 千円     | 千円                                    | 千円                         | 800,000 千円                 | 千円      |
| 産業経済部商業振興課        |   |                |                                       |                            |                            |         |
| 根拠法令              | 苫小牧市中小企業振興条例  |                |                                       |                            |                            |         |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                |                                       |                            |                            |         |
| 事業の目的・対象          | 小規模企業者に対し、事業活動に必要な資金調達の円滑化を図り、経営の安定に資することを目的とします。   |                |                                       |                            |                            |         |
| 事業の必要性            | 当該融資制度は長きにわたって、小規模企業者の経営基盤を支えています。低金利での融資により、小規模企業者の資金需要に応じており、経営安定と事業の発展には欠かせない融資制度となっています。  |                |                                       |                            |                            |         |
| 事業の内容             | (1) 融資対象<br>常時使用する従業員数50人以下の会社及び個人で、市内に独立した事業所があり、かつ市税を完納していること<br>(2) 融資金額<br>運転資金 1,250万円以内 設備資金 1,500万円以内<br>(3) 融資利率<br>1年以内 年0.7% 1年超 年1.3%<br>(4) 融資期間<br>運転資金 7年以内、設備資金 15年以内<br>(5) その他<br>資本金の額が1,000万円以下、かつ、常時使用従業員数が20人(宿泊業及び娯楽業を除く商業、サービス業にあっては5人、医業を主たる事業とする法人にあっては20人)以下の小企業者の信用保証料は申請により市で補給します。(上限30万円)<br>※対象業種<br>北海道信用保証協会対象業種 |                |                                       |                            |                            |         |
| コスト               |   | 人件費            |                                       |                            |                            |         |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 800,000 千円  | }              | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数                      |         |
| 人件費               | 1,243 千円  |                | 担当正規職員                                | 1,243 千円                   | 0.18                       | 人       |
| 総 計               | 801,243 千円  |                | 嘱託職員                                  | 千円                         |                            | 人       |
|                   |   |                | 再任用(7ル)                               | 千円                         |                            | 人       |
|                   |   |                | 再任用(ハ-7)                              | 千円                         |                            | 人       |
| 臨時職員              | 千円  |                | 人                                     |                            |                            |         |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   |                | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度   |
|                   | 融資金額  |                | 千円                                    | 1,136,170                  | 1,113,340                  | 880,364 |
|                   | 融資件数  |                | 件                                     | 188                        | 185                        | 158     |
| 成果目標              | 今後も小規模企業者が利用しやすい融資制度を確立するため、時代に即した融資制度を検討しています。   |                |                                       |                            |                            |         |
| 自己評価              | 事業の有効性(効果の達成状況)   |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |         |
|                   | 事業の効率性(費用対効果)   |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |         |
| 自己評価の理由           | 苫小牧商工会議所や市内金融機関等から情報収集を行い、新規創業者を含めた中小企業者等が利用できるよう、市内金融機関の本・支店を訪問し制度利用のための周知を行いました。  |                |                                       |                            |                            |         |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 景気変動や金融情勢などの理由から融資の見通し予測が困難ですが、小規模企業者のニーズに応えられるよう、利用者の声を拾い上げ、時代に即した融資制度を検討します。  |                |                                       |                            |                            |         |
| 特記事項              | 決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は年度末に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。  |                |                                       |                            |                            |         |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010105

| 事業名               |  | H29年度<br>(決算額) | 財 源 内 訳                               |                            |                            |           |
|-------------------|--|----------------|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------|
| 担当部・課             |  |                | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源      |
| 中小企業協同化資金貸付金      |  | 80,000 千円      | 千円                                    | 千円                         | 80,000 千円                  | 千円        |
| 産業経済部商業振興課        |  |                |                                       |                            |                            |           |
| 根拠法令              | 苫小牧市中小企業振興条例   |                |                                       |                            |                            |           |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金   |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の目的・対象          | 中小企業者等の組合及び構成員の事業に必要な資金を融資するものです。  |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の必要性            | 組合事業のための設備資金及び運転資金や、組合員の事業のための資金などに活用されており、組合事業の円滑な運営のために必要な融資です。  |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の内容             | <p>(1) 融資対象<br/>事業協同組合、企業組合、商店街振興組合、協業組合、生活衛生同業組合等及び構成組合員である中小企業者を対象とします。</p> <p>(2) 融資条件<br/>商工組合中央金庫の定めるところによります。</p> <p>(3) 申込場所<br/>商工組合中央金庫札幌支店(代理店は北央信用組合の市内各支店)</p> |                |                                       |                            |                            |           |
| コスト               |  | 人件費            |                                       |                            |                            |           |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 80,000 千円  | }              | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数                      |           |
| 人件費               | 207 千円   |                | 担当正規職員                                | 207 千円                     | 0.03                       | 人         |
| 総 計               | 80,207 千円  |                | 嘱託職員                                  | 千円                         |                            | 人         |
|                   |  |                | 再任用(フル)                               | 千円                         |                            | 人         |
|                   |  |                | 再任用(ハーフ)                              | 千円                         |                            | 人         |
| 臨時職員              | 千円   |                | 人                                     |                            |                            |           |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名  |                | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度     |
|                   | 融資金額   |                | 千円                                    | 2,259,000                  | 3,316,000                  | 2,817,000 |
|                   | 融資件数   |                | 件                                     | 64                         | 94                         | 129       |
| 成果目標              | 商工組合中央金庫札幌支店と連携し、事業協同組合、企業組合、商店街振興組合、協業組合、生活衛生同業組合等及び構成組合員である中小企業者の経営の安定化を図ります。  |                |                                       |                            |                            |           |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）  |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |           |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）  |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |           |
| 自己評価の理由           | 商工組合中央金庫札幌支店との連携により、当該制度の融資を実施しており、平成29年度は64件2,259百万円の融資実行を行っています。   |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 商工組合中央金庫の定めにより融資が実行され、市は一定額を商工組合中央金庫に預け入れています。今後も商工組合中央金庫の協力を得ながら、円滑な資金により中小企業者等の経営安定化を図ってまいります。   |                |                                       |                            |                            |           |
| 特記事項              | 決算額は年度末に商工組合中央金庫に預け入れた額です。預入れは年度末に全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。  |                |                                       |                            |                            |           |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010106

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額) | 財 源 内 訳                    |                                       |                            |       |
|-------------------|---|----------------|----------------------------|---------------------------------------|----------------------------|-------|
| 担当部・課             |   |                | 国道支出金                      | 地方債                                   | その他                        | 一般財源  |
| 中小企業機械等購入資金貸付金    |   | 5,900 千円       | 千円                         | 千円                                    | 5,900 千円                   | 千円    |
| 産業経済部商業振興課        |   |                |                            |                                       |                            |       |
| 根拠法令              | 苫小牧市中小企業振興条例  |                |                            |                                       |                            |       |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                |                            |                                       |                            |       |
| 事業の目的・対象          | 中小企業等の設備の近代化、合理化を促進するために必要な機械等の購入資金を融資することにより、企業の振興、育成を図ります。  |                |                            |                                       |                            |       |
| 事業の必要性            | 当該融資制度は長きにわたって、中小企業者等の経営基盤を支えています。低金利での融資により、中小企業者等の資金需要に応じており、経営安定と事業の発展には欠かせない融資制度となっています。  |                |                            |                                       |                            |       |
| 事業の内容             | (1) 融資対象<br>市内に独立した事業所を有し、1年以上同一事業を営み、かつ、市税を完納している中小企業等<br>(2) 資金用途<br>設備資金：生産、加工、試験または検査に使用する機械等の設置<br>(3) 融資金額<br>1企業 2,000万円以内<br>(4) 融資利率<br>年1.5%<br>(5) 融資期間<br>10年以内<br><br>※対象業種<br>北海道信用保証協会対象業種 |                |                            |                                       |                            |       |
| コスト               |   | 人件費            |                            |                                       |                            |       |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 5,900 千円  | }              | 職員構成                       | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)                 | 従事職員数                      |       |
| 人件費               | 483 千円  |                | 担当正規職員                     | 483 千円                                | 0.07                       | 人     |
| 総 計               | 6,383 千円  |                | 嘱託職員                       | 千円                                    |                            | 人     |
|                   |   |                | 再任用(7ル)                    | 千円                                    |                            | 人     |
|                   |   |                | 再任用(ハ-7)                   | 千円                                    |                            | 人     |
| 臨時職員              | 千円  |                | 人                          |                                       |                            |       |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   |                | 単位                         | H29年度                                 | H28年度                      | H27年度 |
|                   | 融資金額  |                | 千円                         | 13,340                                | 0                          | 0     |
|                   | 融資件数  |                | 件                          | 1                                     | 0                          | 0     |
| 成果目標              | 景気の動向を注視しつつ、中小企業者が利用しやすい融資制度を確立するため、時代に即した融資制度の拡充を検討します。  |                |                            |                                       |                            |       |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）   |                | <input type="checkbox"/> 高 | <input checked="" type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   |                | <input type="checkbox"/> 高 | <input checked="" type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |
| 自己評価の理由           | 生産及び加工等に使用する機械等の設備に利用できる当該制度は、平成29年度末現在3件の利用があり、市内中小企業者等の資金需要に応じています。   |                |                            |                                       |                            |       |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 景気変動や金融情勢などの理由から融資の見通し予測が困難ですが、中小企業者等のニーズに応えられるよう、利用者の声を拾い上げ、時代に即した融資制度を検討します。  |                |                            |                                       |                            |       |
| 特記事項              | 決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は年度末に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。  |                |                            |                                       |                            |       |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010107

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額) | 財 源 内 訳                    |                                       |                            |       |
|-------------------|---|----------------|----------------------------|---------------------------------------|----------------------------|-------|
| 担当部・課             |   |                | 国道支出金                      | 地方債                                   | その他                        | 一般財源  |
| 店舗近代化設備資金貸付金      |   | 16,900 千円      | 千円                         | 千円                                    | 16,900 千円                  | 千円    |
| 産業経済部商業振興課        |   |                |                            |                                       |                            |       |
| 根拠法令              | 苫小牧市中小企業振興条例  |                |                            |                                       |                            |       |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                |                            |                                       |                            |       |
| 事業の目的・対象          | 中小事業者の店舗近代化に必要な資金を融資することにより、中小商業経営の近代化促進と地域の景観整備に貢献し、その振興を図ります。   |                |                            |                                       |                            |       |
| 事業の必要性            | 当該融資制度は長きにわたって、中小事業者の経営基盤を支えています。低金利での融資により、中小事業者の資金需要に応じており、経営安定と事業の発展には欠かせない融資制度となっています。  |                |                            |                                       |                            |       |
| 事業の内容             | <p>(1) 融資対象<br/>市内に独立した店舗を有し、1年以上同じ事業を営み、市税を完納している中小事業者のうち資本の額が5千万円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が50人以下の物販小売業・飲食店を営む企業及び事業協同組合等。(自動車・燃料・農耕品の小売業を除く)組合については設立後1年未満であっても対象となります。</p> <p>(2) 資金使途<br/>設備資金 ①店舗の新築、増改築資金<br/>②組合が行う共同店舗建設資金<br/>③テナント入店に要する内装設備資金<br/>④不動産等購入資金</p> <p>(3) 融資金額<br/>1企業5,000万円以内、1組合8,000万円以内(テナント入店資金は2,000万円以内)</p> <p>(4) 融資利率 年1.3%</p> <p>(5) 融資期間 15年以内</p> <p>※対象業種<br/>北海道信用保証協会対象業種</p> |                |                            |                                       |                            |       |
| コスト               |   | 人件費            |                            |                                       |                            |       |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 16,900 千円   | }              | 職員構成                       | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)                 | 従事職員数                      |       |
| 人件費               | 483 千円  |                | 担当正規職員                     | 483 千円                                | 0.07                       | 人     |
| 総 計               | 17,383 千円   |                | 嘱託職員                       | 千円                                    |                            | 人     |
|                   |   |                | 再任用(フル)                    | 千円                                    |                            | 人     |
|                   |   |                | 再任用(ハーフ)                   | 千円                                    |                            | 人     |
| 臨時職員              | 千円  |                | 人                          |                                       |                            |       |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   |                | 単位                         | H29年度                                 | H28年度                      | H27年度 |
|                   | 融資金額  |                | 千円                         | 0                                     | 0                          | 0     |
|                   | 融資件数  |                | 件                          | 0                                     | 0                          | 0     |
| 成果目標              | 景気の動向を注視しつつ、中小企業者が利用しやすい融資制度を確立するため、時代に即した融資制度の拡充を検討します。  |                |                            |                                       |                            |       |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）   |                | <input type="checkbox"/> 高 | <input checked="" type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   |                | <input type="checkbox"/> 高 | <input checked="" type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |
| 自己評価の理由           | 店舗の新築及び増改築の設備資金として利用できる当該制度は、新規利用はないものの、平成29年度末現在3件の利用があり、市内中小事業者の資金需要に応じています。  |                |                            |                                       |                            |       |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 景気変動や金融情勢などの理由から融資の見通し予測が困難ですが、中小事業者のニーズに応えられるよう、利用者の声を拾い上げ、時代に即した融資制度を検討します。   |                |                            |                                       |                            |       |
| 特記事項              | 決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は年度末に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。  |                |                            |                                       |                            |       |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010108

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額)  | 財 源 内 訳               |        |           |      |
|-------------------|---|---|-----------------------|--------|-----------|------|
| 担当部・課             |   |   | 国道支出金                 | 地方債    | その他       | 一般財源 |
| 中小企業環境保全施設資金貸付金   |   | 17,100 千円   | 千円                    | 千円     | 17,100 千円 | 千円   |
| 産業経済部商業振興課        |   |   |                       |        |           |      |
| 根拠法令              | 苫小牧市中小企業振興条例  |   |                       |        |           |      |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |   |                       |        |           |      |
| 事業の目的・対象          | 中小企業者等が、その事業活動に伴って発生する公害を処理又は防止するための施設整備資金、環境への負荷の低減や環境の保全に資するための施設整備資金を融資することにより、環境保全対策の推進を図り、市民の生活環境を向上させ、企業の振興を図ります。   |   |                       |        |           |      |
| 事業の必要性            | 当該融資制度は長きにわたって、中小企業者等の経営基盤を支えています。低金利での融資により、中小企業者等の資金需要に応じており、環境対策に積極的な中小企業者等に欠かせない融資制度となっています。  |   |                       |        |           |      |
| 事業の内容             | (1) 融資対象<br>市内に独立した事業所を有し、1年以上同じ事業を営み、市税を完納している中小企業及び関係法令により設立許可を受けた組合等。<br>(2) 融資金額<br>●設備資金/移転資金 1件につき3,000万円以内<br>・公害防止又は改善のために必要な機械等の購入及び施設の設置に要する経費<br>・公害防止のために工場、事業場などを移転するための建設、設置等に要する経費<br>・産業廃棄物の処理、資源化若しくは再利用のために必要な施設の設置又は改善に要する経費<br>・地球温暖化防止に有効な施設等を導入する経費<br>・自然エネルギーを活用する施設を導入する経費<br>●低公害車導入資金 1企業につき2,000万円以内<br>・環境にやさしい電気自動車、ハイブリッド車、天然ガス車、LPガス車等の購入経費及びその燃料供給施設設置経費。<br>(3) 融資利率 年1.1%<br>(4) 融資期間 10年以内<br>※対象業種 北海道信用保証協会対象業種 |   |                       |        |           |      |
| コスト               |   | 人件費   |                       |        |           |      |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 17,100 千円   | 職員構成  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数) |        | 従事職員数     |      |
| 人件費               | 483 千円  | 担当正規職員  | 483 千円                | 0.07 人 |           |      |
| 総 計               | 17,583 千円   | 嘱託職員  | 千円                    | 人      |           |      |
|                   |   | 再任用(フル)   | 千円                    | 人      |           |      |
|                   |   | 再任用(ハーフ)  | 千円                    | 人      |           |      |
|                   |   | 臨時職員  | 千円                    | 人      |           |      |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   | 単位  | H29年度                 | H28年度  | H27年度     |      |
|                   | 融資金額  | 千円  | 0                     | 10,000 | 0         |      |
|                   | 融資件数  | 件   | 0                     | 1      | 0         |      |
| 成果目標              | 景気の動向を注視しつつ、中小企業者が利用しやすい融資制度を確立するため、時代に即した融資制度を検討します。   |   |                       |        |           |      |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）   | <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |                       |        |           |      |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   | <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |                       |        |           |      |
| 自己評価の理由           | 環境対策に伴う設備資金に利用できる当該制度は、新規利用はないものの、平成29年度末現在6件の利用があり、市内中小企業者の資金需要に応じています。  |   |                       |        |           |      |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 景気変動や金融情勢などの理由から融資の見通し予測が困難ですが、中小企業者のニーズに応えられるよう、利用者の声を拾い上げ、時代に即した融資制度を検討します。   |   |                       |        |           |      |
| 特記事項              | 決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は年度末に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。  |   |                       |        |           |      |



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010109

| 事業名                               |   | H29年度<br>(決算額)                        | 財 源 内 訳                    |                            |        |           |
|-----------------------------------|---|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|--------|-----------|
| 担当部・課                             |   |                                       | 国道支出金                      | 地方債                        | その他    | 一般財源      |
| 小規模企業経営改善資金信用保証料補給金<br>産業経済部商業振興課 |   | 17,735 千円                             | 千円                         | 千円                         | 千円     | 17,735 千円 |
| 根拠法令                              | 苫小牧市中小企業振興条例  |                                       |                            |                            |        |           |
| 実施方法                              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                                       |                            |                            |        |           |
| 事業の目的・対象                          | 小規模企業経営改善資金を借入れたときに、北海道信用保証協会へ支払う信用保証料を補給することにより、小規模企業者の健全な経営に資することを目的とします。   |                                       |                            |                            |        |           |
| 事業の必要性                            | 信用保証料の補給は、小規模企業者が資金を借り入れる際の負担軽減となり、資金繰り円滑化の一助となっています。   |                                       |                            |                            |        |           |
| 事業の内容                             | <p>(1) 信用保証料の補給対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資本金の額が1,000万円以下、かつ、常時使用する従業員の数が20人(宿泊業及び娯楽業を除く商業及びサービス業にあっては5人、医業を主たる事業とする法人は20人)以下の会社又は個人</li> <li>・ 小規模企業経営改善資金に限る</li> <li>・ 運転資金と設備資金の資金用途ごとに区分して、それぞれ適用します。</li> </ul> <p>(2) 信用保証料の限度額</p> <p>運転資金及び設備資金、それぞれ30万円を限度に補給します。</p> <p>(3) 信用保証料の補給金の返納</p> <p>信用保証料の補給を受けた小規模企業者が、約定貸付期間を繰り上げて完済し、北海道信用保証協会から信用保証料の返戻を受けたときは、その返戻分について返納するものとします。</p> |                                       |                            |                            |        |           |
| コスト                               |   | 人件費                                   |                            |                            |        |           |
| 事業費<br>(H29年度決算額)                 | 17,735 千円   | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数                      |        |           |
| 人件費                               | 2,072 千円  | 担当正規職員                                | 2,072 千円                   | 0.3                        | 人      |           |
| 総 計                               | 19,807 千円   | 嘱託職員                                  | 千円                         |                            | 人      |           |
|                                   |   | 再任用(7ル)                               | 千円                         |                            | 人      |           |
|                                   |   | 再任用(ハ-7)                              | 千円                         |                            | 人      |           |
|                                   |   | 臨時職員                                  | 千円                         |                            | 人      |           |
| 事業実績<br>(活動指標)                    | 指標名   | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度  |           |
|                                   | 補給金額  | 千円                                    | 17,734                     | 17,560                     | 15,384 |           |
|                                   | 補給件数  | 件                                     | 143                        | 145                        | 136    |           |
| 成果目標                              | 多くの小規模企業者に利用をしてもらうため、各金融機関や中小企業相談所と連携を強化し周知を図ります。   |                                       |                            |                            |        |           |
| 自己評価                              | 事業の有効性（効果の達成状況）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |        |           |
|                                   | 事業の効率性（費用対効果）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |        |           |
| 自己評価の理由                           | 小規模企業経営改善資金の事業歴条件撤廃に伴い、新規創業者の当該信用保証料補給の利用が可能になっています。また、市内金融機関の本・支店を訪問し制度利用のための周知を行いました。   |                                       |                            |                            |        |           |
| 事業の課題、今後の方向性等                     | 信用保証料の補給制度が、小規模企業経営改善資金の融資を円滑にし、小規模企業者の振興に果たしてきたこれまでの役割を踏まえ、今後も、各金融機関や中小企業相談所と連携し周知を図ります。   |                                       |                            |                            |        |           |
| 特記事項                              |   |                                       |                            |                            |        |           |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010110

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額) | 財 源 内 訳   |        |       |          |
|-------------------|---|----------------|---|--------|-------|----------|
| 担当部・課             |   |                | 国道支出金   | 地方債    | その他   | 一般財源     |
| 中小企業振興事業          |   | 3,904 千円       | 千円  | 千円     | 千円    | 3,904 千円 |
| 産業経済部商業振興課        |   |                |   |        |       |          |
| 根拠法令              | 苫小牧市中小企業振興条例  |                |   |        |       |          |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                |   |        |       |          |
| 事業の目的・対象          | 中小企業振興条例に基づき、中小企業の振興に関する基本的事項について、実態やニーズを十分に汲み取る形で検討する苫小牧市中小企業振興審議会を開催し、中小企業振興を推進します。また、創業計画から創業後の経営基盤の強化まで一貫したフォローを行う「創業サポート事業」を実施し、苫小牧市の経済を担う新たな中小企業者の育成を図ります。  |                |   |        |       |          |
| 事業の必要性            | 中小企業の振興が、産業及び地域経済の発展、市民生活の向上に寄与しているため、継続した取り組みが必要となっております。また、「苫小牧市中小企業振興条例」の基本方針に「中小企業者等の創業の促進」を明記しており、新規創業者に対する支援として継続した取り組みが必要となっております。   |                |   |        |       |          |
| 事業の内容             | <p>○中小企業振興審議会の開催<br/>審議会は15名の委員で構成され、1期・2期と審議してきました。<br/>第3期は平成29年6月に委員を委嘱し、平成29年度は5回の審議会及び延べ9回の部会を実施しております。平成29年度の活動としては、市長から諮問を受けた「苫小牧市中小企業振興計画」の策定について、審議会で内容を精査し市長へ答申を行い、平成30年4月に計画を完成させるはこびとなりました。<br/>今後は、計画に基づいた中小企業振興について具体的な支援方法などを検討してまいります。</p> <p>○創業サポート事業<br/>創業希望者または創業間もない創業者を対象に、中小企業診断士の資格を持つ講師が創業の心得や事業計画の作成方法などのセミナーを行います。<br/>これらは苫小牧商工会議所・苫小牧市男女平等参画推進センターと連携して開催し、創業後の経営相談までを一貫してフォローします。また、新規創業セミナーの受講者が年度内に市内で開業した場合には、創業に係る一部経費を補助します。<br/>《平成29年度セミナー日程》<br/>1回目 平成29年5月 平日10時から17時<br/>2回目 平成29年7月 土曜 9時から12時×2回<br/>3回目 平成29年9月 平日18時30分から20時30分×5回(5回目のみ21時まで)<br/>【補助金】1事業 上限30万円 補助率10/10</p> |                |   |        |       |          |
| コスト               |   | 人件費            |   |        |       |          |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 3,904 千円  | 職員構成           | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)   |        | 従事職員数 |          |
| 人件費               | 7,941 千円  | 担当正規職員         | 7,941 千円  | 1.15 人 |       |          |
| 総 計               | 11,845 千円   | 嘱託職員           | 千円  | 人      |       |          |
|                   |   | 再任用(フル)        | 千円  | 人      |       |          |
|                   |   | 再任用(ハーフ)       | 千円  | 人      |       |          |
|                   |   | 臨時職員           | 千円  | 人      |       |          |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   |                | 単位  | H29年度  | H28年度 | H27年度    |
|                   | 中小企業振興審議会   |                | 回   | 5      | 5     | 4        |
|                   | 新規創業セミナー参加者   |                | 人   | 44     | 46    | 48       |
|                   | 創業サポート事業補助金支出額  |                | 千円  | 2,700  | 2,087 | 3,000    |
| 成果目標              | 中小企業者等の振興や新規創業者に対する支援により、産業及び地域経済の発展につながり、結果として市民生活の向上を目指します。   |                |   |        |       |          |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）   |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |        |       |          |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |        |       |          |
| 自己評価の理由           | 第3期審議会は、「苫小牧市中小企業振興計画」の内容について、審議会や3つの部会で修正点や具体的な施策などを議論し、市長へ答申を行ったこと、また「新規創業セミナー」の開催から、受講者には創業経費補助を案内していることから、市内で新規創業を目指す方にとって非常に有用であり、費用に見合った効果を得ていると考えています。   |                |   |        |       |          |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 中小企業者等の課題解決に向け、審議会及び各団体等と連携し中小企業振興施策を検討することが必要と考えます。今後は、平成30年度策定の苫小牧市中小企業振興計画を踏まえ、各主体が積極的に中小企業振興を考え、具体的な振興施策を実施できるよう取り組んでいきます。また、「苫小牧市中小企業振興計画」における主要事業の1つである「創業支援」の具体的な施策として「創業サポート事業」を継続実施できるよう取り組んでいきます。   |                |   |        |       |          |
| 特記事項              |   |                |   |        |       |          |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010111

| 事業名               |                 | H29年度<br>(決算額)   | 財 源 内 訳                               |                            |                            |        |
|-------------------|-----------------|--|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|--------|
| 担当部・課             |                 |  | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源   |
| 中小企業人材育成補助        |                 | 196 千円   | 千円                                    | 千円                         | 千円                         | 196 千円 |
| 産業経済部工業・雇用振興課     |                 |  |                                       |                            |                            |        |
| 根拠法令              |                 |  |                                       |                            |                            |        |
| 実施方法              |                 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金   |                                       |                            |                            |        |
| 事業の目的・対象          |                 | 中小企業の人材育成を促進するため、中小企業大学校旭川校など、独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する研修事業に従業員等を受講させる場合、受講料の一部を補助します。   |                                       |                            |                            |        |
| 事業の必要性            |                 | 市内中小企業は、時間的にも人力的にも余裕がないため、人材育成及び能力開発を支援することが必要です。  |                                       |                            |                            |        |
| 事業の内容             |                 | <p>○中小企業人材育成補助金<br/>           中小企業が経営力・技術力強化のため従業員等を派遣する講座の受講料の一部を補助しました。</p> <p>・補助対象<br/>           (1)本市に事業所又は事務所がある中小企業者であること<br/>           (2)本市の市税に滞納がないこと<br/>           (3)独立行政法人中小企業基盤整備機構の主催する研修事業を受けること</p> <p>・支給額<br/>           対象者1名の研修費2万円を補助します。<br/>           ※研修費が2万円を超えない場合は、その実額<br/>           なお、1事業所につき年間10万円を上限とします。</p> |                                       |                            |                            |        |
| コスト               |                 | 人件費  |                                       |                            |                            |        |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 196 千円          | }  | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数                      |        |
| 人件費               | 691 千円          |  | 担当正規職員                                | 691 千円                     | 0.1                        | 人      |
| 総 計               | 887 千円          |  | 嘱託職員                                  | 千円                         |                            | 人      |
|                   |                 |  | 再任用(フル)                               | 千円                         |                            | 人      |
|                   |                 |  | 再任用(ハーフ)                              | 千円                         |                            | 人      |
|                   |                 | 臨時職員   | 千円                                    |                            | 人                          |        |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名             |  | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度  |
|                   | 研修受講人数          |  | 人                                     | 14                         | 17                         | 25     |
| 成果目標              |                 | 中小企業の人材育成を促進するため、受講人数を増加させます。  |                                       |                            |                            |        |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況） |  | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |        |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   |  | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |        |
| 自己評価の理由           |                 | 中小企業の人材育成及び経営基盤の強化が図られ、中小企業の振興に寄与しています。  |                                       |                            |                            |        |
| 事業の課題、今後の方向性等     |                 | 中小企業の人材育成を支援するため、事業の継続が必要です。また、関係機関と連携した制度の周知に努めます。  |                                       |                            |                            |        |
| 特記事項              |                 |  |                                       |                            |                            |        |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010112

| 事業名                                    |   | H29年度<br>(決算額)   | 財 源 内 訳                    |                            |       |          |
|--|---|--|----------------------------|----------------------------|-------|----------|
| 担当部・課                                  |   |  | 国道支出金                      | 地方債                        | その他   | 一般財源     |
| 苫小牧ゾーン高度技術産業集積活性化事業補助<br>産業経済部工業・雇用振興課 |   | 1,000 千円   | 千円                         | 千円                         | 千円    | 1,000 千円 |
| 根拠法令                                   |   |  |                            |                            |       |          |
| 実施方法                                   |   | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金   |                            |                            |       |          |
| 事業の目的・対象                               |   | 中小企業新事業活動促進法に基づき北海道が策定した「北海道事業環境整備構想」において位置付けられた「高度技術産学連携地域」の道央地域における苫小牧ゾーンの産業振興のため、(公財)道央産業振興財団が実施する事業に対して補助を行い、苫小牧ゾーンにおける高度技術産業の集積を促進します。  |                            |                            |       |          |
| 事業の必要性                                 |   | 苫小牧ゾーンは「北海道事業環境整備構想」の「高度技術産学連携地域」において、大規模な工業集積が見込まれている地域となっています。また自動車関連産業に関連する部品産業への波及効果が期待されるほか、資源循環型産業の集積も図られており、バイオ産業の立地も進められていることから「北海道事業環境整備構想」の推進にあたり、多くの地域産業支援策が必要です。   |                            |                            |       |          |
| 事業の内容                                  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術機関交流事業<br/>地元企業に対して、苫小牧工業高等専門学校専攻科の研究成果と教職員の研究シーズを発表し、企業と教官、学生との交流を図り、産学共同研究の取組を促進しました。</li> <li>・企業誘致活動推進事業<br/>苫小牧地区企業誘致連絡協議会と連携し、企業訪問による企業誘致活動や各種フェア・セミナー等への出展による企業誘致活動等に取り組みました。</li> <li>・調査事業等<br/>苫小牧地域の企業を対象に、技術コーディネーターが巡回、あるいは来所対応によって、技術開発に関する情報提供、助言指導、情報交換を行いました。また、自動車関連の新技术・新工法の最新情報を収集するため商談展示会の視察調査を行いました。</li> </ul> |                            |                            |       |          |
| コスト                                    |   | 人件費  |                            |                            |       |          |
| 事業費<br>(H29年度決算額)                      | 1,000 千円  | 職員構成   | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数                      |       |          |
| 人件費                                    | 千円  | 担当正規職員   | 千円                         | 人                          |       |          |
| 総 計                                    | 1,000 千円  | 嘱託職員   | 千円                         | 人                          |       |          |
|  |   | 再任用(フル)  | 千円                         | 人                          |       |          |
|  |   | 再任用(ハーフ)   | 千円                         | 人                          |       |          |
|  |   | 臨時職員   | 千円                         | 人                          |       |          |
| 事業実績<br>(活動指標)                         | 指標名   | 単位   | H29年度                      | H28年度                      | H27年度 |          |
|  | 学術機関交流会参加者数   | 人  | 62                         | 84                         | 90    |          |
|  | 企業誘致活動(訪問企業数)   | 社  | 31                         | 18                         | 8     |          |
| 成果目標                                   | 企業誘致活動については、より効果的・重点的な企業訪問を行い、情報収集等に努めます。また、各種フェア・フォーラム等に参加し、関係機関との交流を深め、情報収集や意見交換を行い、地域産業の振興を図ります。 |  |                            |                            |       |          |
| 自己評価                                   | 事業の有効性(効果の達成状況)   | <input checked="" type="checkbox"/> 高  | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |          |
|  | 事業の効率性(費用対効果)   | <input checked="" type="checkbox"/> 高  | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |          |
| 自己評価の理由                                | 学術機関交流事業や企業誘致活動推進事業、調査事業により、苫小牧ゾーンにおける高度技術産業の集積に寄与しています。  |  |                            |                            |       |          |
| 事業の課題、今後の方向性等                          | 高度技術産業の集積を促進するため、より効果的な事業の検討が必要です。  |  |                            |                            |       |          |
| 特記事項                                   |   |  |                            |                            |       |          |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010113

| 事業名   |                 | H29年度<br>(決算額)   | 財 源 内 訳                               |                            |                            |          |
|---|-----------------|--|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------|
| 担当部・課   |                 |  | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源     |
| 産学官連携共同研究事業補助   |                 | 1,000 千円   | 千円                                    | 千円                         | 千円                         | 1,000 千円 |
| 産業経済部工業・雇用振興課   |                 |  |                                       |                            |                            |          |
| 根拠法令  |                 |  |                                       |                            |                            |          |
| 実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金 |                 |  |                                       |                            |                            |          |
| 事業の目的・対象  |                 | 地元企業等における研究開発や製品開発を支援するため、（公財）道央産業振興財団が行う共同研究に対し、補助金を交付します。  |                                       |                            |                            |          |
| 事業の必要性  |                 | 専門知識及び設備・機器を活用し、地元企業等から依頼された技術的課題に取り組み、問題解決にあたることで、地域産業の活性化に寄与しています。   |                                       |                            |                            |          |
| 事業の内容   |                 | <p>平成29年度共同研究実績</p> <p>1 共同研究企業 株式会社日邦バルブ<br/>研究テーマ<br/>「ロストワックス技術を用いたステンレス製品の鑄造品質向上に関する研究」</p> <p>2 共同研究企業 株式会社鈴木商会<br/>研究テーマ<br/>「アルミニウム溶湯に対する鉄鋼材料の溶損に関する研究」</p> |                                       |                            |                            |          |
| コスト   |                 | 人件費  |                                       |                            |                            |          |
| 事業費<br>(H29年度決算額)   | 1,000 千円        | }  | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数                      |          |
| 人件費   | 千円              |  | 担当正規職員                                | 千円                         | 人                          |          |
| 総 計   | 1,000 千円        |  | 嘱託職員                                  | 千円                         | 人                          |          |
|   |                 |  | 再任用（フル）                               | 千円                         | 人                          |          |
|   |                 |  | 再任用（ハーフ）                              | 千円                         | 人                          |          |
|   |                 | 臨時職員   | 千円                                    | 人                          |                            |          |
| 事業実績<br>(活動指標)  |                 | 指標名  | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度    |
|   |                 | 共同研究数  | 件                                     | 2                          | 3                          | 2        |
| 成果目標  |                 | 地元企業等との共同研究により、地域の産業振興を図ります。   |                                       |                            |                            |          |
| 自己評価  | 事業の有効性（効果の達成状況） |  | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |          |
|   | 事業の効率性（費用対効果）   |  | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |          |
| 自己評価の理由   |                 | 地元企業等の技術的課題に取り組み、研究開発や製品開発を支援しています。  |                                       |                            |                            |          |
| 事業の課題、今後の方向性等   |                 | 産学官金の連携を一層強化し、地域の産業振興を促進する必要があります。   |                                       |                            |                            |          |
| 特記事項  |                 |  |                                       |                            |                            |          |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010114

| 事業名                               |   | H29年度<br>(決算額) | 財 源 内 訳                               |                                       |                            |           |
|-----------------------------------|---|----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------|-----------|
| 担当部・課                             |   |                | 国道支出金                                 | 地方債                                   | その他                        | 一般財源      |
| 地方創生地域コミュニティ活性化支援事業<br>産業経済部商業振興課 |   | 37,144 千円      | 千円                                    | 千円                                    | 千円                         | 37,144 千円 |
| 根拠法令                              | 地方創生地域コミュニティ活性化支援事業補助金交付要綱、苫小牧市とまちヨッピーポイント付与等に関する要綱   |                |                                       |                                       |                            |           |
| 実施方法                              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                |                                       |                                       |                            |           |
| 事業の目的・対象                          | 本事業は、市総合戦略の基本目標のひとつ「地元の魅力強化、暮らしやすさ発信で移住を促進」の事業として、苫小牧市限定の地域完結型のポイントを活用することで、市外への買い物流出を抑制し、本市経済の活性化に繋げるとともに、市が実施する事業に対する関心を高めていくものです。  |                |                                       |                                       |                            |           |
| 事業の必要性                            | 人口減少・高齢化が同時進行し、経済活動が収縮していく時代の中で、地域内で消費を循環させる仕組みを構築する必要があります。  |                |                                       |                                       |                            |           |
| 事業の内容                             | <p>地方創生地域コミュニティ活性化支援補助金交付要綱及び苫小牧市とまちヨッピーポイント付与等に関する要綱に基づき、苫小牧市限定の地域完結型ポイントを活用する事業を支援する事業です。</p> <p>実施主体は苫小牧市商店街振興組合連合会であり、とまちヨッピーポイント事務局が運営を担っております。</p> <p>①加盟店の開発<br/>②加盟店に対するフォローアップ<br/>③加盟店や市が発行したポイントの管理・精算<br/>④利用促進のためのイベントの運営・企画<br/>⑤ポイントシステムの導入</p> <p>【平成29年度補助】 15,620千円<br/>市の取り組みとしては、次のとおり実施しております。</p> <p>①イベント等でのポイント発行<br/>②広報とまこまい、ホームページを活用した事業の周知</p> <p>【平成29年度実績】 21,524千円（役務費 手数料）</p> |                |                                       |                                       |                            |           |
| コスト                               |   | 人件費            |                                       |                                       |                            |           |
| 事業費<br>(H29年度決算額)                 | 37,144 千円   | 職員構成           | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)                 | 従事職員数                                 |                            |           |
| 人件費                               | 5,869 千円  | 担当正規職員         | 5,869 千円                              | 0.85                                  | 人                          |           |
| 総 計                               | 43,013 千円   | 嘱託職員           | 千円                                    |                                       | 人                          |           |
|                                   |   | 再任用(7ル)        | 千円                                    |                                       | 人                          |           |
|                                   |   | 再任用(ハ-7)       | 千円                                    |                                       | 人                          |           |
|                                   |   | 臨時職員           | 千円                                    |                                       | 人                          |           |
| 事業実績<br>(活動指標)                    | 指標名   |                | 単位                                    | H29年度                                 | H28年度                      | H27年度     |
|                                   | 加盟店数  |                | 店                                     | 215                                   | 204                        |           |
|                                   | カード発行枚数   |                | 枚                                     | 41,859                                | 30,309                     |           |
| 成果目標                              | <p>【平成28年度】加盟店舗数：150店舗 カード発行枚数：30,000枚<br/>【平成29年度】加盟店舗数：250店舗 カード発行枚数：50,000枚<br/>【平成30年度】加盟店舗数：350店舗 カード発行枚数：70,000枚</p>  |                |                                       |                                       |                            |           |
| 自己評価                              | 事業の有効性（効果の達成状況）   |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中            | <input type="checkbox"/> 低 |           |
|                                   | 事業の効率性（費用対効果）   |                | <input type="checkbox"/> 高            | <input checked="" type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |           |
| 自己評価の理由                           | 加盟店舗数・カード発行枚数について、目標数値の8割は達成できていることから、一定程度の有効性・効率性を得ていると考えています。   |                |                                       |                                       |                            |           |
| 事業の課題、今後の方向性等                     | この事業の最終目標は、市の支援（補助金など）に依存しない「民間主導での事業運営」を目指しています。そのためにも、苫小牧市商店街振興組合連合会等の関連団体と協力し、目標数値を達成できるよう取り組んでまいります。  |                |                                       |                                       |                            |           |
| 特記事項                              |   |                |                                       |                                       |                            |           |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010201

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額) |      | 財 源 内 訳                               |                            |                            |            |
|-------------------|---|----------------|------|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|------------|
| 担当部・課             |   |                |      | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源       |
| 苫小牧港管理組合負担金       |   | 982,620 千円     |      | 千円                                    | 千円                         | 千円                         | 982,620 千円 |
| 産業経済部港湾・企業振興課     |   |                |      |                                       |                            |                            |            |
| 根拠法令              | 苫小牧港管理組合同規約   |                |      |                                       |                            |                            |            |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                |      |                                       |                            |                            |            |
| 事業の目的・対象          | 苫小牧港の港湾整備に要する事業経費、苫小牧港管理組合の管理運営などに要する経費と港湾に係る収入、国の支出金等の収支不足分を苫小牧港管理組合同規約に基づき、北海道と苫小牧市の負担金として持分負担します。  |                |      |                                       |                            |                            |            |
| 事業の必要性            | 国際拠点港湾である苫小牧港の港湾機能の充実を図り、効率的な利用ができる港湾として整備を進めることで、地域の産業経済の活性化を図ります。   |                |      |                                       |                            |                            |            |
| 事業の内容             | <p><b>【西港区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西ふ頭1号岸壁改良 国内幹線物流機能確保のための整備事業（平成29年度完成）</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt;整備前&gt;  →  &lt;整備後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>汐見地区屋根付き岸壁 水産品の品質確保及び就労環境改善のための整備事業（平成31年度完成）</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt;整備前&gt;  →  &lt;整備後&gt;</p> <p><b>【東港区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勇払浜離岸堤 波の海岸侵入を防ぐための整備事業（平成29年度完成）</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt;整備前&gt;  →  &lt;整備後&gt;</p> |                |      |                                       |                            |                            |            |
| コスト               |   |                |      | 人件費                                   |                            |                            |            |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 982,620   | 千円             | }    | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数                      |            |
| 人件費               | 2,762   | 千円             |      | 担当正規職員                                | 2,762 千円                   | 0.4                        | 人          |
| 総計                | 985,382   | 千円             |      | 嘱託職員                                  | 千円                         |                            | 人          |
|                   |   |                |      | 再任用(フル)                               | 千円                         |                            | 人          |
|                   |   |                |      | 再任用(ハーフ)                              | 千円                         |                            | 人          |
|                   |   |                | 臨時職員 | 千円                                    |                            | 人                          |            |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   |                |      | 単位                                    | H29年度<br>(速報値)             | H28年度                      | H27年度      |
|                   | 取扱貨物量(外貿)   |                |      | 千t                                    | 18,934                     | 17,032                     | 18,593     |
|                   | 取扱貨物量(内貿)   |                |      | 千t                                    | 90,891                     | 88,570                     | 86,970     |
|                   | 取扱貨物量(合計)   |                |      | 千t                                    | 109,825                    | 105,602                    | 105,563    |
| 成果目標              | 苫小牧港は北海道の港湾取扱貨物量の約半分を占めており、北海道経済の発展において重要な役割を果たすとともに、本市の産業、市政発展に大きく寄与しています。今後我が国の海上物流の拠点として成長し、競争力を高めるためにも、さらなる港湾機能の強化を図り、大規模災害時に対応した基盤整備を行う必要があります。  |                |      |                                       |                            |                            |            |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）   |                |      | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |            |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   |                |      | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |            |
| 自己評価の理由           | 西港区では西ふ頭の岸壁整備が進められ、荷役の効率化が図られた。また、汐見地区では水産品の品質確保及び輸出競争力の強化、労働環境の改善を目的に屋根付き岸壁を整備しました。東港区では勇払浜において、波の侵入を防ぐため、沈下していた離岸堤を整備し、地域住民の安全・安心を確保しました。   |                |      |                                       |                            |                            |            |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 国際競争力をさらに高めるための港湾物流機能の強化、効率化が不可欠であるとともに、施設の老朽化対策及び大規模災害に備えた港湾整備を進めていきます。  |                |      |                                       |                            |                            |            |
| 特記事項              |   |                |      |                                       |                            |                            |            |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010202

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額)  |  | 財 源 内 訳 |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
|-------------------|---|---|--|---------|---------|-----|------------|--------|--------|----|--------|---------|----|--------|---------|----|--------|---------|----|--------|---------|----|--------|---------|----|
| 担当部・課             |   |   |  | 国道支出金   | 地方債     | その他 | 一般財源       |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 企業立地振興条例助成        |   | 359,499 千円  |  | 千円      | 千円      | 千円  | 359,499 千円 |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 産業経済部港湾・企業振興課     |   |   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 根拠法令              | 苫小牧市企業立地振興条例  |   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 事業の目的・対象          | 事業場の新設・増設、それに伴う新規雇用、緑化事業を行ったものに対し、助成金の交付を行い、もって地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図り、本市の発展に寄与します。  |   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 事業の必要性            | 少子高齢化による人口減少などを背景に、企業誘致による地域経済の活性化及び雇用機会の拡大はより重要性が増している状況です。企業立地振興条例に基づく助成金は、企業誘致のための重要な手段の一つとして、必要性の高いものとなっております。  |   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 事業の内容             | 1 事業場設置助成金  |   | <table border="1"> <caption>事業場設置助成金実績</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>100,000</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>150,000</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>200,000</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>300,000</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>350,000</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> |         |         |     |            | 年度     | 金額(千円) | 件数 | 25     | 100,000 | 14 | 26     | 150,000 | 26 | 27     | 200,000 | 35 | 28     | 300,000 | 42 | 29     | 350,000 | 44 |
|                   | 年度  | 金額(千円)  | 件数   |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
|                   | 25  | 100,000   | 14   |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 26                | 150,000   | 26  |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 27                | 200,000   | 35  |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 28                | 300,000   | 42  |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 29                | 350,000   | 44  |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 2 雇用助成金           |   | <table border="1"> <caption>雇用助成金実績</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>10,000</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>60,000</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>10,000</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>15,000</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>20,000</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table> |  |         |         |     | 年度         | 金額(千円) | 人数     | 25 | 10,000 | 23      | 26 | 60,000 | 216     | 27 | 10,000 | 16      | 28 | 15,000 | 34      | 29 | 20,000 | 81      |    |
| 年度                | 金額(千円)  | 人数  |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 25                | 10,000  | 23  |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 26                | 60,000  | 216   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 27                | 10,000  | 16  |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 28                | 15,000  | 34  |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 29                | 20,000  | 81  |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 3 緑化助成金           |   | <table border="1"> <caption>緑化助成金実績</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>5,000</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>10,000</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>10,000</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>20,000</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>15,000</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>        |  |         |         |     | 年度         | 金額(千円) | 件数     | 25 | 5,000  | 2       | 26 | 10,000 | 2       | 27 | 10,000 | 2       | 28 | 20,000 | 4       | 29 | 15,000 | 4       |    |
| 年度                | 金額(千円)  | 件数  |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 25                | 5,000   | 2   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 26                | 10,000  | 2   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 27                | 10,000  | 2   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 28                | 20,000  | 4   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 29                | 15,000  | 4   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| コスト               |   | 人件費   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 359,499 千円  | 職員構成  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)  | 従事職員数   |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 人件費               | 2,762 千円  | 担当正規職員  | 2,762 千円   | 0.4     | 人       |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 総計                | 362,261 千円  | 嘱託職員  | 千円   | 人       |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
|                   |   | 再任用(フル)   | 千円   | 人       |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
|                   |   | 再任用(ハーフ)  | 千円   | 人       |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
|                   |   | 臨時職員  | 千円   | 人       |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   | 単位  | H29年度  | H28年度   | H27年度   |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
|                   | 事業場設置助成金  | 千円  | 328,336  | 340,008 | 210,926 |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
|                   | 雇用助成金   | 千円  | 24,300   | 10,200  | 4,800   |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
|                   | 緑化助成金   | 千円  | 6,863  | 20,733  | 10,502  |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
|                   | 交付総件数   | 件   | 44   | 42      | 35      |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 成果目標              | 平成25年度以降企業立地振興条例に基づく助成金交付件数は、右肩上がりとなっております。今後も自動車関連企業を中心に新たな設備投資が見込まれていることから、当面このような傾向が続くものと思われれます。引き続き地域経済の活性化や雇用機会の拡大を図るため、本市の優位性と併せ、当助成制度の活用についてPRを強化し、さらなる誘致活動を展開してまいります。 |   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 自己評価の理由           | 企業立地振興条例については、これまでも時代背景や経済状況などに応じ、助成要件の緩和や対象業種の拡大を図っています。その結果多くの企業にも活用いただき、新たな設備投資や雇用の創出に繋がっております。  |   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 今後も進出を考える企業などに積極的にPRするとともに新たな産業や今後成長が見込まれる産業等対象業種の追加・要件の改正など検討し、経済の動向や効果を勘案しながら柔軟に対応してまいります。  |   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |
| 特記事項              |   |   |  |         |         |     |            |        |        |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |        |         |    |



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010203

| 事業名   |                   | H29年度<br>(決算額)   | 財 源 内 訳                               |                            |                            |        |
|---|-------------------|--|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|--------|
| 担当部・課   |                   |  | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源   |
| 苫小牧CCS促進協議会負担金  |                   | 500 千円   | 千円                                    | 千円                         | 千円                         | 500 千円 |
| 産業経済部港湾・企業振興課   |                   |  |                                       |                            |                            |        |
| 根拠法令  |                   |  |                                       |                            |                            |        |
| 実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金 |                   |  |                                       |                            |                            |        |
| 事業の目的・対象  |                   | 市民や地元企業などに対して、二酸化炭素の回収貯留（以下「CCS」）の実証試験に対する理解と気運の醸成を図ります。   |                                       |                            |                            |        |
| 事業の必要性  |                   | 将来において苫小牧が、地球環境と地域産業の活性化との両立可能な低炭素社会構築に向けて先導的な役割を担うため、市民や地元企業など地域一体となった取組を推進します。   |                                       |                            |                            |        |
| 事業の内容   |                   | <p>1 機関紙「苫小牧CCS促進協議会通信Vol.8」発行<br/>機関紙を発行し、事業の進捗状況や活動等について掲載しました。</p> <p>2 市庁舎に設置したモニターでの情報公開やパネル展等への後援・協力<br/>パネル展実施場所：イオン苫小牧店、フェリーターミナル、北海道庁等</p> <p>3 子ども向け実験教室・夏休み宿題教室等への後援・協力<br/>場 所：苫小牧CCS実証試験センター、美術博物館、児童センター</p> <p>4 CCS講演会「地球温暖化とCCS」の開催（経済産業省との共催）<br/>場 所：グランドホテルニュー王子 対象：一般市民等<br/>講演者：環境省 地球環境局 地球温暖化対策事業室長 水谷 好洋 氏<br/>経済産業省 産業技術環境局 地球環境連携室長 松村 亘 氏<br/>環境パフォーマー らんま先生</p> <p>5 CCS促進協議会「地上設備見学会」<br/>場 所：苫小牧CCS実証試験センター 対象：CCS促進協議会の会員・オブザーバー</p> |                                       |                            |                            |        |
| コスト   |                   | 人件費  |                                       |                            |                            |        |
| 事業費<br>(H29年度決算額)   | 500 千円            | 職員構成   | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)                 | 従事職員数                      |                            |        |
| 人件費   | 1,381 千円          | 担当正規職員   | 1,381 千円                              | 0.2                        | 人                          |        |
| 総 計   | 1,881 千円          | 嘱託職員   | 千円                                    |                            | 人                          |        |
|   |                   | 再任用(7月)  | 千円                                    |                            | 人                          |        |
|   |                   | 再任用(8-7)   | 千円                                    |                            | 人                          |        |
|   |                   | 臨時職員   | 千円                                    |                            | 人                          |        |
| 事業実績<br>(活動指標)  | 指標名               |  | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度  |
|   | CCS講演会「地球温暖化とCCS」 |  | 人                                     | 315                        | 312                        | 320    |
|   | 子ども実験教室・夏休み宿題教室   |  | 人                                     | 211                        | 81                         | 110    |
| 現場視察会   |                   | 人  | 10                                    | 22                         | 21                         |        |
| 成果目標  |                   | 経済産業省や日本CCS調査(株)と連携し、引き続き、市庁舎に設置したモニターでの情報公開や広報とまこまいへの掲載、講演会・視察会等の広報周知活動に取り組みます。また、地元での事業展開などに関する情報を収集し、更なる実証試験の可能性等についても検討・協議してまいります。   |                                       |                            |                            |        |
| 自己評価  | 事業の有効性（効果の達成状況）   |  | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |        |
|   | 事業の効率性（費用対効果）     |  | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |        |
| 自己評価の理由   |                   | 平成29年度は順調に二酸化炭素の圧入が継続され、累計15万トンを超える二酸化炭素が圧入されました。また、国内外から2,000名近くの見学者が訪れ、産業観光のルートにも組み込まれるなど、大きな注目を集めています。経済産業省や関係機関とも連携し、CCSに対する理解を深めていただけるよう、情報発信・周知活動に取り組みました。   |                                       |                            |                            |        |
| 事業の課題、今後の方向性等   |                   | 国によるCCS実用化の状況を注視しつつ、事業展開に関連した情報収集等に努め、更なる実証試験の可能性等についても検討・協議しながら、関連する研究機関・産業の誘致の可能性等について、検討してまいります。  |                                       |                            |                            |        |
| 特記事項  |                   |  |                                       |                            |                            |        |



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010204

| 事業名                                 |   | H29年度<br>(決算額)  | 財 源 内 訳                    |   |       |        |
|-------------------------------------|---|---|----------------------------|---|-------|--------|
| 担当部・課                               |   |   | 国道支出金                      | 地方債   | その他   | 一般財源   |
| 苫小牧水素エネルギープロジェクト事業<br>産業経済部港湾・企業振興課 |   | 255 千円  | 千円                         | 千円  | 千円    | 255 千円 |
| 根拠法令                                |   |   |                            |   |       |        |
| 実施方法                                |   | ■直接実施 □業務委託等 □補助金・負担金・助成金   |                            |   |       |        |
| 事業の目的・対象                            |   | 水素エネルギーは、将来の二次エネルギーの中心的役割を担うことが期待されています。このような情勢のもと、新たな産業展開、雇用創出など地域経済活性化に向けた取組を推進します。   |                            |   |       |        |
| 事業の必要性                              |   | 本市は、ものづくり産業の集積地であることに加え、物流拠点やエネルギー供給基地としての機能を有しているため、地域の特性を活かした水素の利活用やサプライチェーン構築の検討等を行います。  |                            |   |       |        |
| 事業の内容                               |   | <p>水素エネルギープロジェクト会議及び検討部会の開催・モデル事業の検討<br/>産学官が一体となって水素エネルギーを活用した地域づくりを推進するため、苫小牧水素エネルギープロジェクト会議や検討部会を開催したほか、先進事例に係る情報収集等を行いました。</p> <p>会議では先進的取組を進めている企業から講演をいただくなど、市内における水素社会構築に向けた機運の醸成を図りました。また、検討部会では本市における水素エネルギーの利活用に向け、今後の事業の具体化に向けた検討を行いました。</p> |                            |   |       |        |
|                                     |   |   |                            |  |       |        |
| コスト                                 |   | 人件費   |                            |   |       |        |
| 事業費<br>(H29年度決算額)                   | 255 千円  | 職員構成  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数   |       |        |
| 人件費                                 | 1,381 千円  | 担当正規職員  | 1,381 千円                   | 0.2   | 人     |        |
| 総 計                                 | 1,636 千円  | 嘱託職員  | 千円                         |   | 人     |        |
|                                     |   | 再任用(7ル)   | 千円                         |   | 人     |        |
|                                     |   | 再任用(ハ-7)  | 千円                         |   | 人     |        |
|                                     |   | 臨時職員  | 千円                         |   | 人     |        |
| 事業実績<br>(活動指標)                      | 指標名   | 単位  | H29年度                      | H28年度   | H27年度 |        |
|                                     | 水素エネルギープロジェクト会議・部会の開催   | 回   | 2                          | 2   |       |        |
| 成果目標                                | 平成28年度に実施した「水素エネルギー社会構築に向けた可能性調査」の結果や水素エネルギープロジェクト会議の検討内容をもとに、本市の優位性を活かした水素の利活用やサプライチェーン構築に向けて、産学官で連携した取組を推進します。                                |   |                            |   |       |        |
| 自己評価                                | 事業の有効性（効果の達成状況）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高   | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低  |       |        |
|                                     | 事業の効率性（費用対効果）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高   | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低  |       |        |
| 自己評価の理由                             | 平成29年度は、国において水素基本戦略が策定され、水素社会構築に向けた機運が高まっているところですが、国内での先進的な事例について情報収集を行い、苫小牧水素エネルギープロジェクト会議で情報提供を行うなど、本市の優位性を活かした水素の利活用やサプライチェーン構築に向けた取組を進めました。 |   |                            |   |       |        |
| 事業の課題、今後の方向性等                       | 平成28年度に実施した「水素エネルギー社会構築に向けた可能性調査」や水素エネルギープロジェクト会議の検討内容をもとに、水素の利活用やサプライチェーン構築に向けて、取組を具体化してまいります。   |   |                            |   |       |        |
| 特記事項                                |   |   |                            |   |       |        |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010205

| 事業名   |                     | H29年度<br>(決算額)  | 財 源 内 訳                               |                            |                            |           |
|---|---------------------|---|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------|
| 担当部・課   |                     |   | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源      |
| 立地企業サポート事業  |                     | 50,871 千円   | 千円                                    | 千円                         | 千円                         | 50,871 千円 |
| 産業経済部港湾・企業振興課   |                     |   |                                       |                            |                            |           |
| 根拠法令  |                     |   |                                       |                            |                            |           |
| 実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金 |                     |   |                                       |                            |                            |           |
| 事業の目的・対象  |                     | 雇用機会の創出と雇用の安定化を目的として、市内に事業所を有する企業等を対象に、人材確保への支援や雇用環境改善に係る補助や支援を行います。  |                                       |                            |                            |           |
| 事業の必要性  |                     | 国内需要の縮小や人口減少などの背景を踏まえ、地域経済を支える立地企業をサポートしていく必要があります。人手不足・人材確保等、立地企業が抱えている課題やニーズに対して持続的に支援を行うことで、地域経済の活性化に繋がります。  |                                       |                            |                            |           |
| 事業の内容   |                     | <p>市内の立地企業を対象に、従業員の定着率の向上や雇用の安定化を目的とした労働環境の改善のための設備投資や、経営の安定化を目的とした展示会や商談会への出展経費、人材の確保を目的とした就職説明会への出展経費に対して、補助を行います。</p> <p>また、製造業等の労働力市場の開拓、有能な人材の確保や定住促進のため、市内企業を対象とした市外での合同就職説明会の開催等を行います。</p> <p>&lt;事業イメージ&gt;</p> |                                       |                            |                            |           |
| コスト   |                     | 人件費   |                                       |                            |                            |           |
| 事業費<br>(H29年度決算額)   | 50,871 千円           | 職員構成  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)                 | 従事職員数                      |                            |           |
| 人件費   | 7,825 千円            | 担当正規職員  | 5,524 千円                              | 0.8                        | 人                          |           |
| 総 計   | 58,696 千円           | 嘱託職員  | 千円                                    |                            | 人                          |           |
|   |                     | 再任用(7ル)   | 千円                                    |                            | 人                          |           |
|   |                     | 再任用(ハ-7)  | 千円                                    |                            | 人                          |           |
|   |                     | 臨時職員  | 2,301 千円                              | 1                          | 人                          |           |
| 事業実績<br>(活動指標)  | 指標名                 |   | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度     |
|   | 展示会や商談会への出展経費等の補助件数 |   | 件                                     | 8                          | 12                         | 4         |
|   | 合同就職説明会等への参加法人数     |   | 社                                     | 49                         | 54                         | 26        |
| 労働環境の改善等のための経費の補助件数   |                     | 件   | 25                                    | 17                         | 6                          |           |
| 成果目標  |                     | 市内中小企業における従業員の職場への定着率向上、販路拡大や新たなビジネスパートナーの獲得を目指します。また、労働力市場の開拓、有能な人材の確保、定住の促進を目指します。  |                                       |                            |                            |           |
| 自己評価  | 事業の有効性（効果の達成状況）     |   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |           |
|   | 事業の効率性（費用対効果）       |   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |           |
| 自己評価の理由   |                     | 本事業により、新規受注、従業員の新規採用、従業員の定着率の向上に繋がっています。  |                                       |                            |                            |           |
| 事業の課題、今後の方向性等   |                     | 人材の確保が課題となっていることから、平成30年度から市が主催する合同就職説明会の開催に加え、民間等が主催する就職説明会の開催への補助も開始しました。今後も継続的に立地企業との意見交換・情報共有を図り、より効果的な事業となるように制度を見直ししながら、課題解決に向けて連携・協力・フォローアップを行います。   |                                       |                            |                            |           |
| 特記事項  |                     |   |                                       |                            |                            |           |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010206

| 事業名               |  | H29年度<br>(決算額) | 財 源 内 訳                               |                            |                            |          |
|-------------------|--|----------------|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------|
| 担当部・課             |  |                | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源     |
| 苦小牧港PR促進事業        |  | 1,000 千円       | 千円                                    | 千円                         | 千円                         | 1,000 千円 |
| 産業経済部港湾・企業振興課     |  |                |                                       |                            |                            |          |
| 根拠法令              | 苦小牧港PR促進事業補助要綱   |                |                                       |                            |                            |          |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金 |                |                                       |                            |                            |          |
| 事業の目的・対象          | みなとオアシス苦小牧運営協議会の活動に対する支援を強化することにより、交流人口や観光客等の増加を図り、苦小牧港のさらなる魅力発信や賑わいの創出を図ることを目的とします。（平成28年度より事業実施）           |                |                                       |                            |                            |          |
| 事業の必要性            | 苦小牧港の魅力について様々な場面で発信することにより、より多くの方に苦小牧港について知ってもらい、賑わいの創出につなげることで地域経済の活性化を図ります。                                |                |                                       |                            |                            |          |
| 事業の内容             | 【みなとオアシス苦小牧運営協議会事業内容】※苦小牧港PR促進事業分<br><br>・Sea級グルメ全国大会出展<br>平成29年10月14日～15日岡山県魚津市開催                           |                |                                       |                            |                            |          |
| コスト               |  | 人件費            |                                       |                            |                            |          |
|                   |  | 職員構成           | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)                 |                            | 従事職員数                      |          |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 1,000 千円   | 担当正規職員         | 691 千円                                |                            | 0.1 人                      |          |
| 人件費               | 691 千円   | 嘱託職員           | 千円                                    |                            | 人                          |          |
| 総計                | 1,691 千円   | 再任用(フル)        | 千円                                    |                            | 人                          |          |
|                   |  | 再任用(ハーフ)       | 千円                                    |                            | 人                          |          |
|                   |  | 臨時職員           | 千円                                    |                            | 人                          |          |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名  |                | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度    |
|                   | Sea級グルメブース来場者  |                | 人                                     | 1,013<br>(魚津市)             | 909<br>(蒲郡市)               | —        |
| 成果目標              | みなとオアシス苦小牧運営協議会の活動に参画するなど連携を図ることで、より多くの方に苦小牧港の魅力を知っていただき、港周辺の賑わい創出につなげてまいります。                                |                |                                       |                            |                            |          |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）  |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |          |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）  |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |          |
| 自己評価の理由           | Sea級グルメ全国大会をはじめとするみなとオアシス運営協議会の事業において、苦小牧港の魅力について発信し、より多くの方に苦小牧港を知っていただく機会を設けることができました。                      |                |                                       |                            |                            |          |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 苦小牧港の魅力について、より多くの方々に発信できるよう事業内容、活動内容について引き続き評価・検討を行ってまいります。  |                |                                       |                            |                            |          |
| 特記事項              |  |                |                                       |                            |                            |          |



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010207

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額) | 財 源 内 訳                               |                            |                            |           |
|-------------------|---|----------------|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------|
| 担当部・課             |   |                | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源      |
| テクノセンター機器整備事業     |   | 20,320 千円      | 千円                                    | 千円                         | 千円                         | 20,320 千円 |
| 産業経済部テクノセンター      |   |                |                                       |                            |                            |           |
| 根拠法令              | 苫小牧市テクノセンター条例   |                |                                       |                            |                            |           |
| 実施方法              | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の目的・対象          | 目的：地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化に寄与するため、テクノセンター機器及び設備を整備し、その充実を図ります。<br>対象：地元中小企業   |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の必要性            | 技術力向上を支援し、生産技術の高度化に寄与するため、基盤設備の計画的な更新と新技術に対応できる測定機器等の継続的な整備が必要です。   |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の内容             | 1. 地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化を促進して産業振興を図るためには、継続的な基盤整備が必要であることから、平成16年度から計画的に設備更新と技術水準に対応した機器の導入を進めております。<br>2. 事業としては、材料関連（材料評価、非破壊検査など）、機械加工関連（機械加工、精密測定など）及びメカトロニクス関連（計測制御、システム開発）の3分野において実施しております。<br>3. 主な事業の内容は、次のとおりです。<br>① 設備機器の取扱指導及び利用開放を行っております。<br>② 企業からの依頼による材料試験、精密測定及び非破壊検査を行い、成績書を発行しております。<br>③ 企業の技術力向上に資するため、技術相談や技術指導を行っております。また、技術研修会や技術講習会を随時開催しております。 |                |                                       |                            |                            |           |
| コスト               |   | 人件費            |                                       |                            |                            |           |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 20,320 千円   | }              | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数                      |           |
| 人件費               | 13,621 千円   |                | 担当正規職員                                | 10,358 千円                  | 1.5                        | 人         |
| 総 計               | 33,941 千円   |                | 嘱託職員                                  | 3,263 千円                   | 1                          | 人         |
|                   |   |                | 再任用(7ル)                               | 千円                         |                            | 人         |
|                   |   |                | 再任用(ハ-7)                              | 千円                         |                            | 人         |
| 臨時職員              | 千円  |                | 人                                     |                            |                            |           |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   |                | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度     |
|                   | 機器利用・依頼試験   |                | 件                                     | 1,106                      | 1,016                      | 1,218     |
|                   | 技術相談・技術指導   |                | 回                                     | 96                         | 81                         | 72        |
|                   | 技術研修会・技術講演会参加者  |                | 人                                     | 224                        | 304                        | 221       |
| 成果目標              | テクノセンターの企業に対する支援は、日常的な機器利用と依頼試験、企業からの技術相談や技術指導、及び技術研修会等の実施を通じた人材育成支援等が挙げられます。設備整備事業の成果は、それらの利用件数によって評価できます。   |                |                                       |                            |                            |           |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）   |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |           |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |           |
| 自己評価の理由           | 企業による機器利用や依頼試験の件数は1,000件を超え、地域のニーズに応じていると評価できます。また技術相談や技術指導の回数は増加し、研修会の参加人数も200人以上を数え、技術力の向上に貢献していると考えられます。   |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 苫小牧地域の企業においては、競争力強化のための技術力向上やコスト削減が求められており、なお一層の技術支援や設備の充実が引き続き求められています。一方、設備機器の高機能化に伴い高額化していることから、国庫補助金などの利用も検討します。  |                |                                       |                            |                            |           |
| 特記事項              |   |                |                                       |                            |                            |           |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010208

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額) | 財 源 内 訳                               |                            |                            |           |
|-------------------|---|----------------|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------|
| 担当部・課             |   |                | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源      |
| テクノセンター暖房空調設備改修工事 |   | 10,400 千円      | 千円                                    | 千円                         | 千円                         | 10,400 千円 |
| 産業経済部テクノセンター      |   |                |                                       |                            |                            |           |
| 根拠法令              | 苫小牧市テクノセンター条例   |                |                                       |                            |                            |           |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金                                  |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の目的・対象          | 目的：地域企業に対するテクノセンターの技術支援業務を安定的に継続して行うこと、及び評価試験作業に対する信頼性をより一層向上させることを目的としています。<br>対象：テクノセンター  |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の必要性            | テクノセンターは建築後19年が経過して暖房及び空調設備の老朽化が進み、近年故障が頻発しています。これらの設備が停止しますと、当センターの業務に支障が生じ、地域企業からの利用に対して多大な影響を及ぼすことになります。このような事態を未然に防ぐため、計画的に改修工事を実施するものです。 |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の内容             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・精密測定室系統空調機の更新</li> <li>・ラインポンプの更新（2台）</li> <li>・熱交換機の更新（1台）</li> <li>・圧縮空気供給装置の更新</li> </ul>          |                |                                       |                            |                            |           |
| コスト               |   | 人件費            |                                       |                            |                            |           |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 10,400 千円   | }              | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      | 従事職員数                      |           |
| 人件費               | 2,072 千円  |                | 担当正規職員                                | 2,072 千円                   | 0.3                        | 人         |
| 総 計               | 12,472 千円   |                | 嘱託職員                                  | 千円                         |                            | 人         |
|                   |   |                | 再任用(フル)                               | 千円                         |                            | 人         |
|                   |   |                | 再任用(ハーフ)                              | 千円                         |                            | 人         |
|                   |   | 臨時職員           | 千円                                    |                            | 人                          |           |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   |                | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度     |
|                   |   |                |                                       |                            |                            |           |
|                   |   |                |                                       |                            |                            |           |
|                   |   |                |                                       |                            |                            |           |
| 成果目標              | 計画的に改修工事を実施し、技術支援業務を安定的に継続することを目指します。   |                |                                       |                            |                            |           |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）   |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |           |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   |                | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |           |
| 自己評価の理由           | 昨年度、故障の発生により利用者に影響を及ぼしたケースが生じた空調機を更新し、安定的でより精度の高い空調が実現できるようになりました。  |                |                                       |                            |                            |           |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 老朽化が進む設備の故障により、利用者に影響を及ぼすことがないよう、計画的に改修工事を実施し、技術支援業務を安定的に継続します。   |                |                                       |                            |                            |           |
| 特記事項              |   |                |                                       |                            |                            |           |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010301

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額)  | 財 源 内 訳   |                       |         |          |
|-------------------|---|---|---|-----------------------|---------|----------|
| 担当部・課             |   |   | 国道支出金   | 地方債                   | その他     | 一般財源     |
| 港まつり事業            |   | 5,000 千円  | 千円  | 千円                    | 千円      | 5,000 千円 |
| 産業経済部観光振興課        |   |   |   |                       |         |          |
| 根拠法令              |   |   |   |                       |         |          |
| 実施方法              | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |   |   |                       |         |          |
| 事業の目的・対象          | 市内最大のイベントである「とまこまい港まつり事業」に対する補助金です。   |   |   |                       |         |          |
| 事業の必要性            | 例年多くの市民の皆さんが参加され、大いに楽しまれており、ふれあいや隣人愛、郷土愛を育む市民あげてのまつりであるため必要です。  |   |   |                       |         |          |
| 事業の内容             | <p>①中央公園（若草町）のメイン会場では、ステージ行事を始め、約150店舗の露店や、各会場での協賛などにより、平成29年度の来場者は35万3千人でした。</p> <p>②新規事業として、港湾業務艇「はやぶさ」苦小牧港見学会や巡視船「れぶん」一般公開により、新たな誘客につながりました。</p> |   |  <p>③ステージ行事では、「misono Special LIVE」や恒例の「駒澤大学附属苦小牧高等学校吹奏楽局」のステージを実施し、超満員の賑わいを見せました。</p> |                       |         |          |
| コスト               |   | 人件費   |   |                       |         |          |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 5,000 千円  | }   | 職員構成  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数) | 従事職員数   |          |
| 人件費               | 14,479 千円   |   | 担当正規職員  | 11,739 千円             | 1.7     | 人        |
| 総 計               | 19,479 千円   |   | 嘱託職員  | 千円                    |         | 人        |
|                   |   |   | 再任用 (7月)  | 899 千円                | 0.2     | 人        |
|                   |   |   | 再任用 (8-7月)  | 千円                    |         | 人        |
|                   |   | 臨時職員  | 1,841 千円  | 0.8                   | 人       |          |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   | 単位  | H29年度   | H28年度                 | H27年度   |          |
|                   | 来場者   | 人   | 353,000   | 364,000               | 369,000 |          |
| 成果目標              | 市民や観光客などにも楽しめる市内最大のイベントにし、市民皆が参加できるイベントになるように努めます。  |   |   |                       |         |          |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |   |                       |         |          |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |   |                       |         |          |
| 自己評価の理由           | 本市最大のイベントであり、市民にも定着したイベントになっています。平成29年度は肌寒い日や弱雨の影響もあったが、35万3千人の来場者となり、事業の有効性は高いと考えています。   |   |   |                       |         |          |
| 事業の課題、今後の方向性等     | これまでの事務局機能を含めた事業内容等を検証するとともに、港まつりを含む各種イベント事務局機能の新たな方向性を検討します。   |   |   |                       |         |          |
| 特記事項              |   |   |   |                       |         |          |


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010302

| 事業名                     |   | H29年度<br>(決算額)                        | 財 源 内 訳                    |                            |        |          |
|-------------------------|---|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|--------|----------|
| 担当部・課                   |   |                                       | 国道支出金                      | 地方債                        | その他    | 一般財源     |
| スケートまつり事業<br>産業経済部観光振興課 |   | 3,000 千円                              | 千円                         | 千円                         | 千円     | 3,000 千円 |
| 根拠法令                    |   |                                       |                            |                            |        |          |
| 実施方法                    | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                                       |                            |                            |        |          |
| 事業の目的・対象                | 冬の一大イベントである「とまこまいスケートまつり事業」に対する補助金です。   |                                       |                            |                            |        |          |
| 事業の必要性                  | スケートの街『氷都とまこまい』を市内外にPRする冬の一大イベントで、市民はもちろん、市外からもたくさんの方が訪れています。特に「しばれ焼き」は苦小牧を代表する名物として広くみんなから愛され、子供達が楽しめるアトラクションも多く、家族で楽しめる内容になっています。半世紀にも渡り市民に親しまれるイベントで事業の必要性は非常に高くなっています。  |                                       |                            |                            |        |          |
| 事業の内容                   | ①中央公園（若草町）のメイン会場では、ステージ行事を始め、約50店舗の露店や、各会場での協賛などにより、平成29年度の来場者は5万5千人でした。<br> ②市民雪像コンテストを継続した他、協賛行事では雪の巨大迷路やスケートボブスレーなど、来場者が冬のまつりを楽しむことができました。<br> |                                       |                            |                            |        |          |
| コスト                     |   | 人件費                                   |                            |                            |        |          |
| 事業費<br>(H29年度決算額)       | 3,000 千円  | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      |                            | 従事職員数  |          |
| 人件費                     | 13,098 千円   | 担当正規職員                                | 11,048 千円                  | 1.6                        | 人      |          |
| 総 計                     | 16,098 千円   | 嘱託職員                                  | 千円                         |                            | 人      |          |
|                         |   | 再任用（フル）                               | 899 千円                     | 0.2                        | 人      |          |
|                         |   | 再任用（ハーフ）                              | 千円                         |                            | 人      |          |
|                         |   | 臨時職員                                  | 1,151 千円                   | 0.5                        | 人      |          |
| 事業実績<br>(活動指標)          | 指標名   | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度  |          |
|                         | 来場者   | 人                                     | 55,000                     | 57,000                     | 55,000 |          |
| 成果目標                    | 市内外へ氷都とまこまいをPRするとともに、来場者が楽しみながら冬を満喫できるイベントを目指します。   |                                       |                            |                            |        |          |
| 自己評価                    | 事業の有効性（効果の達成状況）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |        |          |
|                         | 事業の効率性（費用対効果）   | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |        |          |
| 自己評価の理由                 | 本市の冬の一大イベントであり、市民にも定着したイベントとなっています。平成29年度は前年度を2,000人下回る55,000人の来場でしたが、事業の有効性は高いと考えています。   |                                       |                            |                            |        |          |
| 事業の課題、今後の方向性等           | 今後は、事務局機能の一部外部委託を実施する予定です。  |                                       |                            |                            |        |          |
| 特記事項                    |   |                                       |                            |                            |        |          |




事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010303

| 事業名               |   | H29年度<br>(決算額)  |                       |        |        |     |          |
|-------------------|---|---|-----------------------|--------|--------|-----|----------|
| 担当部・課             |   |   |                       | 国道支出金  | 地方債    | その他 | 一般財源     |
| たるまえサンフェスティバル事業   |   | 2,850   | 千円                    | 千円     | 千円     | 千円  | 2,850 千円 |
| 産業経済部観光振興課        |   |   |                       |        |        |     |          |
| 根拠法令              |   |   |                       |        |        |     |          |
| 実施方法              | □直接実施 □業務委託等 ■補助金・負担金・助成金   |   |                       |        |        |     |          |
| 事業の目的・対象          | 「市民参加型のイベントのサンフェスティバル」を目指すと共に、来場者・協賛者・地域・主催者が共に参加し、楽しめるイベントとして位置づけ、雄大な樽前山の麓にあるオートリゾート苫小牧アルテン「まきばの広場」のロケーションの素晴らしさを市民を含めた観光客に提供し、秋の休日を満喫していただきます。  |   |                       |        |        |     |          |
| 事業の必要性            | 素晴らしいロケーションで、炭火のコンロで食すバーベキューは、市民も楽しみにしている秋のイベントとなっています。また、昼食時には長蛇の列ができる人気イベントです。来場者は市外からも多くの方が来場していることから、本市のPRにもなり、地域の活性化も含め、今後も必要なイベントです。  |   |                       |        |        |     |          |
| 事業の内容             | <p>①ステージでは、歌やダンス、ジャンケン大会やお楽しみ抽選会などの参加型イベントが盛り沢山のステージを開催しました。</p> <p>②ステージ外イベントとして、サケのつかみ取りや移動動物園、グラスポートなど、来場者が楽しめるイベントを開催しました。</p> <p>③バーベキューメニューは、北海道産牛肉（100g）、樽前湧水豚（200g）をセットにして販売しました。</p> <p>④市営バスの鉄北北口線（03）の路線でワンコインバスを運行しました。</p> |   |                       |        |        |     |          |
|                   |   |  |                       |        |        |     |          |
| コスト               |   | 人件費   |                       |        |        |     |          |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 2,850 千円  | 職員構成  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数) |        | 従事職員数  |     |          |
| 人件費               | 691 千円  | 担当正規職員  | 691 千円                |        | 0.1 人  |     |          |
| 総計                | 3,541 千円  | 嘱託職員  | 千円                    |        | 人      |     |          |
|                   |   | 再任用(フル)   | 千円                    |        | 人      |     |          |
|                   |   | 再任用(ハーフ)  | 千円                    |        | 人      |     |          |
|                   |   | 臨時職員  | 千円                    |        | 人      |     |          |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名   | 単位  | H29年度                 | H28年度  | H27年度  |     |          |
|                   | 来場者   | 人   | 28,000                | 26,000 | 20,000 |     |          |
| 成果目標              | 樽前山麓の雄大な”自然景観”と”食”など本市の魅力をPRするとともに、来場者が楽しみながら秋の休日を満喫できるイベントを目指します。  |   |                       |        |        |     |          |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）   | ☑ 高 □ 中 □ 低   |                       |        |        |     |          |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   | ☑ 高 □ 中 □ 低   |                       |        |        |     |          |
| 自己評価の理由           | 樽前山の麓で開催されるこのイベントは、会場からのロケーションは素晴らしく、バーベキューを楽しみながら、最高の環境と高い評価をいただいています。   |   |                       |        |        |     |          |
| 事業の課題、今後の方向性等     | この素晴らしいロケーションを広くPRするとともに、札幌圏を中心とする市外への情報発信にも努めていきます。  |   |                       |        |        |     |          |
| 特記事項              |   |   |                       |        |        |     |          |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010304

| 事業名                            |                 | H29年度<br>(決算額)   |                                       |  |                            |       |        |
|--------------------------------|-----------------|--|---------------------------------------|--|----------------------------|-------|--------|
| 担当部・課                          |                 |  |                                       | 国道支出金  | 地方債                        | その他   | 一般財源   |
| 苫小牧市大会等誘致推進協議会補助<br>産業経済部観光振興課 |                 | 650  | 千円                                    | 千円   | 千円                         | 千円    | 650 千円 |
| 根拠法令                           |                 |  |                                       |  |                            |       |        |
| 実施方法                           |                 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金 |                                       |  |                            |       |        |
| 事業の目的・対象                       |                 | スポーツや文化の合宿や大会など積極的に誘致・推進することにより、地域経済の活性化と対外的イメージアップに寄与します。   |                                       |  |                            |       |        |
| 事業の必要性                         |                 | 合宿や大会などを開催することで、多大な経済波及効果が生まれるため、今後も継続が必要です。   |                                       |  |                            |       |        |
| 事業の内容                          |                 | ①広報活動として、各種団体等へ大会開催状況調査などを行っているほか、歓迎ステッカーを作成し、市内宿泊施設や公共施設、JR苫小牧駅構内にある大会・合宿歓迎看板などへ掲示を行いPRしています。               |                                       |  <p>平成27年5月供用開始<br/>緑ヶ丘公園陸上競技場(第3種公営競技場へ改修)</p> |                            |       |        |
|                                |                 | ②誘致推進事業として、関東方面を中心とする高校や大学、実業団などへ合宿誘致セールスを継続しています。また、合宿など実施いただいた際の助成制度の紹介や差し入れなども行い、誘致に必要となる各種要望活動も行っています。   |                                       |  <p>白鳥王子アイスアリーナ</p>                             |                            |       |        |
|                                |                 |  |                                       |  <p>平成28年3月完成<br/>新とぎわすアイススケートセンター</p>         |                            |       |        |
| コスト                            |                 | 人件費  |                                       |  |                            |       |        |
| 事業費<br>(H29年度決算額)              | 650 千円          | 職員構成   | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)                 |  | 従事職員数                      |       |        |
| 人件費                            | 691 千円          | 担当正規職員   | 691 千円                                |  | 0.1 人                      |       |        |
| 総計                             | 1,341 千円        | 嘱託職員   | 千円                                    |  | 人                          |       |        |
|                                |                 | 再任用(フル)  | 千円                                    |  | 人                          |       |        |
|                                |                 | 再任用(ハーフ)   | 千円                                    |  | 人                          |       |        |
|                                |                 | 臨時職員   | 千円                                    |  | 人                          |       |        |
| 事業実績<br>(活動指標)                 |                 | 指標名  | 単位                                    | H29年度  | H28年度                      | H27年度 |        |
|                                |                 | 延べ宿泊者数   | 人                                     | 6,680  | 10,848                     | 9,268 |        |
| 成果目標                           |                 | 各団体のニーズを捉え、積極的なセールス活動を行い、長期的な合宿や全国規模の大会等の誘致活動を行います。  |                                       |  |                            |       |        |
| 自己評価                           | 事業の有効性（効果の達成状況） |  | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中   | <input type="checkbox"/> 低 |       |        |
|                                | 事業の効率性（費用対効果）   |  | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中   | <input type="checkbox"/> 低 |       |        |
| 自己評価の理由                        |                 | この活動による地域への経済波及効果は非常に大きく、特に団体での合宿では、長期間で宿泊者数も多いことから、事業の効果は大きいものと考えています。                                      |                                       |  |                            |       |        |
| 事業の課題、今後の方向性等                  |                 | 今後の方向性としては、各施設の充実と練習環境の整備が必要となることから、関係部署と協議していきます。   |                                       |  |                            |       |        |
| 特記事項                           |                 |  |                                       |  |                            |       |        |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010305

| 事業名                             |                 | H29年度<br>(決算額)   |    | 人件費                                 |                       |                          |       |                          |   |
|---------------------------------|-----------------|--|----|-------------------------------------|-----------------------|--------------------------|-------|--------------------------|---|
| 担当部・課                           |                 |  |    | 職員構成                                | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数) | 従事職員数                    |       |                          |   |
| とまこまいフィルムコミッション事業<br>産業経済部観光振興課 |                 | 277  | 千円 | 千円                                  | 千円                    | 千円                       | 277   | 千円                       |   |
| 根拠法令                            |                 |  |    |                                     |                       |                          |       |                          |   |
| 実施方法                            |                 | ■直接実施 □業務委託等 □補助金・負担金・助成金  |    |                                     |                       |                          |       |                          |   |
| 事業の目的・対象                        |                 | 各種撮影を通し、苫小牧を広くPRするため、映像製作者への各種支援を行い、本市におけるロケーション撮影が円滑に行われる環境を整え、支援を通じ地域振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とします。   |    |                                     |                       |                          |       |                          |   |
| 事業の必要性                          |                 | 各種撮影に伴う経済効果、それに伴う観光客の増加を大きく見込める事業であり、苫小牧の魅力発信という点においても重要な役割を担い、必要性は非常に高くなっています。  |    |                                     |                       |                          |       |                          |   |
| 事業の内容                           |                 | <p>①各種撮影支援を年間平均25件ほど行っています。</p> <p>②映像関係者や製作者に特化したロケ地への誘致及びPRを目的とした商談会である、ジャパンフィルムコミッション（JFC）ロケ地フェアに参加し、本市のPRを行っています。</p> <p>③観光振興課ホームページで活動報告などのPRを行っています。</p> <p>④各種要望等に応えるため、各関係機関と連携し、調整しながら事業を進めています。</p> |    |                                     |                       |                          |       |                          |   |
| コスト                             |                 | 人件費  |    |                                     |                       |                          |       |                          |   |
| 事業費<br>(H29年度決算額)               | 277             | 千円   | }  | 職員構成                                | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数) | 従事職員数                    |       |                          |   |
| 人件費                             | 2,072           | 千円   |    | 担当正規職員                              | 2,072                 | 千円                       | 0.3   | 人                        |   |
| 総計                              | 2,349           | 千円   |    | 嘱託職員                                |                       | 千円                       |       | 人                        |   |
|                                 |                 |  |    | 再任用(フル)                             |                       | 千円                       |       | 人                        |   |
|                                 |                 |  |    | 再任用(ハーフ)                            |                       | 千円                       |       | 人                        |   |
| 臨時職員                            |                 | 千円   |    | 人                                   |                       |                          |       |                          |   |
| 事業実績<br>(活動指標)                  |                 | 指標名  |    | 単位                                  | H29年度                 | H28年度                    | H27年度 |                          |   |
|                                 |                 | ロケ支援活動件数   |    | 件                                   | 24                    | 29                       | 20    |                          |   |
| 成果目標                            |                 | ロケ誘致における支援活動等を積極的に進めるとともに、ロケ等の実施時には官民一体での協力体制を整えるよう努めます。   |    |                                     |                       |                          |       |                          |   |
| 自己評価                            | 事業の有効性（効果の達成状況） |  |    | <input checked="" type="checkbox"/> | 高                     | <input type="checkbox"/> | 中     | <input type="checkbox"/> | 低 |
|                                 | 事業の効率性（費用対効果）   |  |    | <input checked="" type="checkbox"/> | 高                     | <input type="checkbox"/> | 中     | <input type="checkbox"/> | 低 |
| 自己評価の理由                         |                 | この事業は、ロケ誘致等に成功した際の経済波及効果が大きく、また、本市の知名度向上に寄与しているものと考えています。  |    |                                     |                       |                          |       |                          |   |
| 事業の課題、今後の方向性等                   |                 | 本市の自然や産業、交通アクセスの利便性の高さを様々な場面で積極的にPRするとともに、この事業に対する市民等の理解を深め、協力体制を常に構築できる環境の整備が必要です。  |    |                                     |                       |                          |       |                          |   |
| 特記事項                            |                 |  |    |                                     |                       |                          |       |                          |   |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010306

| 事業名               |                 | H29年度<br>(決算額)  |          |                                       |                            |                            |       |
|-------------------|-----------------|---|----------|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-------|
| 担当部・課             |                 |   |          | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源  |
| 苫小牧クルーズ振興協議会補助    |                 | 2,500   | 千円       | 千円                                    | 千円                         | 千円                         | 2,500 |
| 産業経済部観光振興課        |                 |   |          |                                       |                            |                            |       |
| 根拠法令              |                 |   |          |                                       |                            |                            |       |
| 実施方法              |                 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |          |                                       |                            |                            |       |
| 事業の目的・対象          |                 | クルーズ船の寄港により、苫小牧港の新たな魅力を発信するとともに、乗船客に対する観光PRの展開とおもてなし機運の醸成を図ります。   |          |                                       |                            |                            |       |
| 事業の必要性            |                 | クルーズ船文化の創造を図り、さらなるクルーズ船の寄港に繋げるとともに、苫小牧港の新たな魅力の発信と地域振興及び観光振興に寄与するためには、苫小牧クルーズ振興協議会における安定的な事業実施が必要不可欠です。  |          |                                       |                            |                            |       |
| 事業の内容             |                 | ①クルーズ歓迎行事<br>・9月6日（水）飛鳥Ⅱ道新観光主催「飛鳥Ⅱで航く秋田&山形美食の日本海クルーズ」<br>乗客：770名 歓迎行事<br>苫小牧市民を対象とした1人2万円の助成金により、72名の参加<br>・9月9日（土）飛鳥Ⅱ道新観光主催「飛鳥Ⅱで航く秋田&山形美食の日本海クルーズ」<br>乗客：770名 歓迎行事<br>・10月13日（金）ばしふいっくびいなす 日本クルーズ客船主催<br>「秋の日本一周探訪クルーズ」 乗客：196名 歓迎行事<br><br>②各種協議会・セミナーへの参加<br>・平成29年みなと総研フォーラム<br>・北海道クルーズ振興協議会総会<br>・北海道における外国人クルーズ客対応方策検討会<br>・クルーズセミナー<br>・平成29年度港湾機能強化検討会<br>・平成29年度クルーズ船需要に対応する観光連携に関する検討会 |          |                                       |                            |                            |       |
| コスト               |                 | 人件費   |          |                                       |                            |                            |       |
|                   |                 |   |          | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      |                            | 従事職員数 |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 2,500 千円        | }   | 担当正規職員   | 2,072 千円                              | 0.3                        | 人                          |       |
| 人件費               | 2,072 千円        |   | 嘱託職員     | 千円                                    |                            | 人                          |       |
|                   |                 |   | 再任用(フル)  | 千円                                    |                            | 人                          |       |
|                   |                 |   | 再任用(ハーフ) | 千円                                    |                            | 人                          |       |
| 総計                | 4,572 千円        |   | 臨時職員     | 千円                                    |                            | 人                          |       |
| 事業実績<br>(活動指標)    |                 | 指標名   |          | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度 |
|                   |                 | クルーズ寄港回数  |          | 回                                     | 3                          | 0                          | 5     |
|                   |                 | 苫人隊加入人数   |          | 人                                     | 290                        | 286                        | 284   |
| 成果目標              |                 | 平成29年度は3回の寄港実績があり、クルーズ船の寄港が定着しつつあります。苫人隊の会員数も増加傾向にあることから、クルーズ船の歓迎ムードを盛り上げ更なる寄港に結び付けます。  |          |                                       |                            |                            |       |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況） |   |          | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）   |   |          | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |
| 自己評価の理由           |                 | クルーズ船寄港の経済波及効果も期待できるため、寄港につながる本事業の効果は高いと考えています。   |          |                                       |                            |                            |       |
| 事業の課題、今後の方向性等     |                 | クルーズ船の寄港については、入港できる船が限られてしまうということから、非常に難しい問題もあります。そのため、欧米船社の中・小型船をターゲットにした誘致活動を行っていきます。   |          |                                       |                            |                            |       |
| 特記事項              |                 |   |          |                                       |                            |                            |       |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010307

| 事業名               |  | H29年度<br>(決算額)   |                                       |                            |                            |       |       |
|-------------------|--|--|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-------|-------|
| 担当部・課             |  |  |                                       | 国道支出金                      | 地方債                        | その他   | 一般財源  |
| 観光振興ビジョン推進事業      |  | 9,712  | 千円                                    | 千円                         | 千円                         | 1,000 | 千円    |
| 産業経済部観光振興課        |  |  |                                       |                            |                            |       |       |
| 根拠法令              |  |  |                                       |                            |                            |       |       |
| 実施方法              |  | □直接実施 ■業務委託等 □補助金・負担金・助成金  |                                       |                            |                            |       |       |
| 事業の目的・対象          |  | 平成28年2月策定の「苦小牧観光振興ビジョン」に基づき、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。  |                                       |                            |                            |       |       |
| 事業の必要性            |  | 交流人口の増加による地域経済の活性化を図るため、特産品やスポーツ施設、道の駅ウトナイ湖など、地域の魅力を有効に活用し、インバウンド拡大や情報発信の強化等に向けた幅広い事業の展開が必要です。   |                                       |                            |                            |       |       |
| 事業の内容             |  | <p>①観光事業者等支援事業：本市事業者への道外販路拡大の情報提供を行いながら、市外での出店補助を行い、本市への誘客促進に繋がりました。また、本市の産業施設等を撮影スポットとして開放するコスプレフェスタを開催することで、新たな経済波及効果がありました。さらに、食の面からスポーツ選手等を支えるアスリートフードマイスターを養成することで、更なる合宿等の誘致を目指しています。</p> <p>②外国人観光客誘致事業：フェリー航路を活用したタイからの招聘事業と、アジア圏の富裕層をターゲットとした道内のゴルフ場を紹介する招聘事業を行うことで、インバウンドの拡大を目指しています。また、外国人観光客誘致に必須となるWi-Fi整備に伴う補助と受入人材育成事業を行い、受入環境の整備を進めています。</p> <p>③観光誘客促進業務委託事業：本市に集積する産業を観光資源としたバスツアーを開催したほか、本市事業者とともに道外の商談会参加や旅行事業者を訪問するなど、誘客促進活動を行いました。また、ドライブマップ及びロケ地マップを作成し、観光誘客の促進を図りました。</p> <p>④臨時観光案内所開設事業：道の駅ウトナイ湖において、臨時観光案内所を開設し、本市の魅力を効果的に発信するとともに、市内観光施設への誘客促進を図りました。</p> |                                       |                            |                            |       |       |
| コスト               |  | 人件費  |                                       |                            |                            |       |       |
| 事業費<br>(H29年度決算額) | 9,712 千円   | 職員構成   | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)                 |                            | 従事職員数                      |       |       |
| 人件費               | 9,667 千円   | 担当正規職員   | 9,667 千円                              | 1.4 人                      |                            |       |       |
| 総計                | 19,379 千円  | 嘱託職員   | 千円                                    | 人                          |                            |       |       |
|                   |  | 再任用(7月)  | 千円                                    | 人                          |                            |       |       |
|                   |  | 再任用(8-7)   | 千円                                    | 人                          |                            |       |       |
|                   |  | 臨時職員   | 千円                                    | 人                          |                            |       |       |
| 事業実績<br>(活動指標)    | 指標名  |  |                                       | 単位                         | H29年度                      | H28年度 | H27年度 |
|                   | 観光入込客数   |  |                                       | 万人                         | 199.5                      | 193.3 | 187.8 |
| 成果目標              | 苦小牧市観光振興ビジョンに基づき、本市の観光振興を図り、特産品などのPRや観光誘客の促進、外国人観光客の誘致に取り組みながら、新規観光需要を発掘し、交流人口の増加につなげます。 |  |                                       |                            |                            |       |       |
| 自己評価              | 事業の有効性（効果の達成状況）  |  | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |       |
|                   | 事業の効率性（費用対効果）  |  | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |       |
| 自己評価の理由           | この事業を進めることで、他市との連携や、海外からの招聘事業など、本市を幅広くPRすることができ、観光振興ビジョンを推進していく上で、非常に効果が高いと考えています。       |  |                                       |                            |                            |       |       |
| 事業の課題、今後の方向性等     | 今後の課題は、更なる情報発信を進め、外国人を含む交流人口の増加を目指し、観光振興ビジョンの推進を進めていきます。                                 |  |                                       |                            |                            |       |       |
| 特記事項              |  |  |                                       |                            |                            |       |       |

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010308

| 事業名                              |   | H29年度<br>(決算額) |    |                                       |                            |                            |       |     |    |
|----------------------------------|---|----------------|----|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-------|-----|----|
| 担当部・課                            |   |                |    | 国道支出金                                 | 地方債                        | その他                        | 一般財源  |     |    |
| ウトナイ交流センター展望施設整備事業<br>産業経済部観光振興課 |   | 9,878          | 千円 | 2,861                                 | 千円                         | 6,700                      | 千円    | 317 | 千円 |
| 根拠法令                             |   |                |    |                                       |                            |                            |       |     |    |
| 実施方法                             | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金  |                |    |                                       |                            |                            |       |     |    |
| 事業の目的・対象                         | 苫小牧市ウトナイ交流センターに展望施設を整備することにより、同センターの集客力向上による地域の活性化を促進します。   |                |    |                                       |                            |                            |       |     |    |
| 事業の必要性                           | 新千歳空港の24時間運用拡大に伴う航路下地域との合意事項に基づき、植苗地区の地域振興対策として、苫小牧市ウトナイ交流センターに、地域の要望を踏まえた展望施設を早急に整備する必要があります。                |                |    |                                       |                            |                            |       |     |    |
| 事業の内容                            | 新千歳空港の24時間運用拡大に伴う地域振興対策として、ウトナイ交流センターに展望施設を整備するための新築設計業務を実施しました。  |                |    |                                       |                            |                            |       |     |    |
| コスト                              |   |                |    | 人件費                                   |                            |                            |       |     |    |
| 事業費<br>(H29年度決算額)                | 9,878   | 千円             | }  | 職員構成                                  | 概算人件費<br>(平均給与×従事職員数)      |                            | 従事職員数 |     |    |
| 人件費                              | 1,381   | 千円             |    | 担当正規職員                                | 1,381                      | 千円                         | 0.2   | 人   |    |
| 総計                               | 11,259  | 千円             |    | 嘱託職員                                  |                            | 千円                         |       | 人   |    |
|                                  |   |                |    | 再任用(フル)                               |                            | 千円                         |       | 人   |    |
|                                  |   |                |    | 再任用(ハーフ)                              |                            | 千円                         |       | 人   |    |
|                                  |   |                |    | 臨時職員                                  |                            | 千円                         |       | 人   |    |
| 事業実績<br>(活動指標)                   | 指標名   |                |    | 単位                                    | H29年度                      | H28年度                      | H27年度 |     |    |
|                                  | ウトナイ交流センター来場者数  |                |    | 万人                                    | 76                         | 79                         | 78    |     |    |
|                                  |   |                |    |                                       |                            |                            |       |     |    |
| 成果目標                             | 新千歳空港の24時間運用拡大に伴う合意事項を着実に遂行するとともに、ウトナイ交流センターの集客力向上による地域活性化につながる施設を整備します。                                      |                |    |                                       |                            |                            |       |     |    |
| 自己評価                             | 事業の有効性（効果の達成状況）   |                |    | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |     |    |
|                                  | 事業の効率性（費用対効果）   |                |    | <input checked="" type="checkbox"/> 高 | <input type="checkbox"/> 中 | <input type="checkbox"/> 低 |       |     |    |
| 自己評価の理由                          | 地域振興対策の早期実現に向け、地域や関係団体等の意見・要望を伺いながら整備を進めていくことで、地域との信頼関係がより強固なものになるとともに、観光施設としての機能強化につながることから、非常に効果が高いと考えています。 |                |    |                                       |                            |                            |       |     |    |
| 事業の課題、今後の方向性等                    | 地域からは、対策の早期実現を求められていることから、平成30年度内の供用開始を目指し、スピード感を持って取り組んでいく必要があります。   |                |    |                                       |                            |                            |       |     |    |
| 特記事項                             |   |                |    |                                       |                            |                            |       |     |    |